令和９年度

学 生 募 集 要 項

［ 一般選抜 ］

令和８年１１月

宮 崎 大 学

不測の事態により、出願期間、試験日、選抜方法等について変更する場合には、直ちに本学ホームページ上で随時お知らせしますので、出願前及び受験直前に必ず確認してください。

宮崎大学ホームページ　https://www.miyazaki-u.ac.jp/

宮崎大学の教育理念とアドミッション・ポリシー（入学者受入・選抜の方針）

教育理念

宮崎大学は、「世界を視野に、地域から始めよう」のスローガンのもとに、人類の英知の結晶としての学術・文化に関する知的遺産の継承と発展、深奥なる学理の探究、地球環境の保全と学際的な生命科学の創造を目指し、変動する社会の多様な要請に応え得る人材を育成することを教育の理念として掲げています。本学では、これらの理念を具現化するために、以下の教育目標を掲げ充実した教育に取り組んでいます。

1．人間性の教育
　高い倫理性と責任感を育むとともに、幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養する。

2．社会性・国際性の教育
　地球規模の視野に立ち、社会の多様な要請に対応して、柔軟で論理的な思考力をもって、社会の発展に積極的に貢献できる社会性・国際性を涵養する。

3．専門性の教育
　新たな知の創造につながる専門教育を実施し、獲得した知識・技能を総合的に活用して、自ら発見した課題に適用し、解決する創造的思考力や態度を育成する。

アドミッション・ポリシー（入学者受入・選抜の方針）

宮崎大学では、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）及びカリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）に掲げた、社会の発展に積極的に貢献する人材の育成を目指しています。そのため、以下の「求める学生像」に示す、知識・技能、思考力及び意欲を持った人を国内外から積極的に受け入れます。

【求める学生像】

1．本学の教育理念に共感し、入学後の学修に充分対応できる基礎的な知識・技能を有する人
2．身に付けた知識・技能を応用して問題を解決する上で必要となる思考力を有する人
3．身に付けた知識・技能及び思考力を地域社会や国際社会において自ら積極的に活用し、その発展に貢献する意欲を持った人

【入学者選抜の基本方針】

1．求める学生像に沿って、多様な入学者選抜方法により多面的・総合的に選抜する。
2．客観的で透明性のある方法によって、公平に選抜する。

宮崎大学ではこのような教育理念を各学部、学科、課程において達成するために、それぞれアドミッション・ポリシー（入学者受入・選抜の方針）を掲げています。

したがって、本学に入学を希望する人は、教養教育及び学部専門教育の内容や各学部、学科、課程のアドミッション・ポリシーを十分に理解した上で志願してください。

令和９年度宮崎大学入学試験日程

（ 一 般 選 抜 ）

	前 期 日 程	後 期 日 程
Ｗｅｂ出願 登録期間	令和9年1月22日（金）～ 2月3日（水）17時まで	
出願期間	令和9年1月25日（月）～ 2月3日（水）17時まで	
受験票印刷 可能日	令和9年２月10日（水）	
試験日	令和9年 2月25日（木）・26日（金）※	令和9年3月12日（金）
合格者発表日	令和9年3月7日（日）	令和9年3月20日（土）
入学手続期間	令和9年3月15日（月）17時まで	令和9年3月27日（土）17時まで
追加合格	令和9年3月28日（日）～ 3月31日（水）	

※　教育学部及び医学部医学科のみ２月25日・26日の２日間実施とします。

自然災害や人為災害、感染症の全国的な感染拡大等により、上記日程での実施が困難な場合に出願期間、試験日、選抜方法等について変更することがあります。

変更することを決定した場合は、直ちに本学ホームページ上でお知らせしますので、本学からの発表にご留意ください。

激甚災害により被災した志願者の入学検定料の免除について

宮崎大学では、激甚災害により被災した志願者の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るために、本学で実施する学部の入学試験等において、下記のとおり特別措置を講じることといたします。
該当する志願者の方で特別措置を希望する場合は、所定の手続きが必要となりますので、事前に学び・学生支援機構入試課までご連絡ください。

記

１．措置内容
入学検定料の全額免除

２．免除の対象者
免除対象となる入学者選抜の志願者で、本学の入学者選抜の出願期限から過去 1 年以内に自然災害（激甚災害指定）等により被災し、次のいずれかに該当する者
（1）本人又は学資負担者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合
（2）学資負担者が死亡した場合
※過去の激甚災害の指定状況一覧はこちら（内閣府ホームページ）
例）１月１日被災→1 月２日から翌年１月１日まで

３．申請方法
申請希望者は、必ず令和９年１月５日（火）までに学び・学生支援機構入試課に所定の申請書を必要書類とともに提出してください。

４．結果通知について
令和９年１月 15 日（金）までに結果通知と併せてパスワードを通知しますので、それをもって Web 出願登録を行ってください。

５．申請書類
（1）入学検定料免除申請書（様式は本学ホームページよりダウンロードしてください。）
（2）り災証明書（コピー可）（上記２の（１）に該当する方）
（3）死亡又は行方不明を証明する書類（コピー可）（上記２の（２）に該当する方）
（4）その他（学資負担者が所有する自宅家屋であることを示す書類等を求めることがあります。）

６．連絡先・提出先
〒889-2192　宮崎市学園木花台西１丁目１番地
宮崎大学 学び・学生支援機構 入試課
電話　0985-58-7138　　FAX　0985-58-2865

関連ホームページ
https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/admission/nk-menjo.html

目　　次

１　学部のアドミッション・ポリシー	1
（１）教育学部	1
（２）医学部	6
（３）工学部	8
（４）農学部	10
（５）地域資源創成学部	13
２　入学定員（募集人員）	14
３　出願資格	18
出願時の注意事項	19
（１）「こども性暴力防止法」の施行に伴う実習等に関するお知らせ	19
（２）障がい等のある入学志願者の事前相談	20
４　出願手続	21
（１）インターネットを利用した出願情報の登録及び入学検定料の支払い	21
（２）提出書類	23
（３）提出方法等	26
（４）提出先	26
（５）提出書類（出願書類）の受付期間等	26
（６）注意事項	27
５　教育学部、工学部及び農学部における第２志望等について	28
６　受験票の印刷及び選択科目の確認	28
７　第１段階選抜による結果通知	28
８　選抜方法	29
９　入学者選抜の実施教科・科目等	29
（１）教科・科目名の表記について	29
（２）教科・科目等	30
（３）小論文、総合問題、面接の採点・評価基準	36
（４）主体性評価について	37
（５）合否判定基準	38
（６）第２志望等の選抜方法	39
（７）教科・科目に係る個別テスト（英語）の免除について	40
１０　試験日程及び試験場	41
１１　受験上の注意事項	44
１２　不正行為について	45
１３　一般選抜（前・後期日程）の入学試験問題について	46
１４　教科・科目に係る個別テスト会場（農学部）について	46
１５　合格者発表	47
１６　追加合格	47
１７　欠員補充第２次募集	47
１８　出願状況	47
１９　大学入学共通テスト受験教科・科目の確認	48
２０　入学手続等	51
２１　個人情報の取扱いについて	54
２２　入学試験成績の情報開示（一般選抜）	55
２３　統計資料	56
２４　試験場配置図	59

1. 学部のアドミッション・ポリシー

（Ⅰ）教 育 学 部

学校教育課程　小中一貫教育コース

小中一貫教育コースでは、児童・生徒の長期にわたる発達過程を見通す見識、児童・生徒への深い理解力、教員としての使命感、責任感、教育的愛情を身に付けた教員の養成を目標としています。

Ⅰ．求める学生像

小中一貫教育コースでは、小学校・中学校・小中一貫校等の教員を目指す、教職への意欲にあふれ、教職に必要なたしかな知識・技能(以下、「知識・技能」)について研鑽を積み、教育課題を解決するために必要な思考力（以下、「思考力」)、児童・生徒への適確な指導に資する表現力（以下、「表現力」）と学校現場で生きる協調性（以下、「協調性」）をもち、それらを高めるべく努力を怠らない人材を求めています。

２．入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」と「後期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜Ⅱ 総合型選抜Ⅰ	一般選抜では評価が難しい多様な能力や資質を有し、意欲的でかつ本学部への志望動機が明確な入学希望者を対象とし、入学者を選考します。

３．選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

選抜方法 ＼ 求める能力や適性等		知識・技能	思考力	表現力	教職への意欲	協調性
前期日程	共通テスト	◎	○			
	教科・科目に係る個別テスト	◎	◎	◎		
	面接	○	◎	◎	◎	○
後期日程	共通テスト	◎	○			
	小論文	○	◎	◎	○	
	面接	○	◎	◎	◎	○
学校推薦型選抜Ⅱ 小学校主免専攻 （宮崎県教員希望枠）	共通テスト	◎	○			
	面接	○	◎	◎	◎	○
	提出書類	○	○	○	◎	
学校推薦型選抜Ⅱ 中学校主免専攻	共通テスト	◎	○			
	面接	○	◎	◎	◎	○
	提出書類	○	○	○	◎	
総合型選抜Ⅰ 小学校主免専攻 （宮崎県教員希望枠）	小論文	○	◎	◎	○	
	面接	○	◎	◎	◎	○
	口頭試問	◎	◎	◎		○
	提出書類	○	○	○	◎	

総合型選抜Ⅰ 中学校主免専攻 （音楽・美術・保健体育）	小論文	◎	◎	◎	○	
	面接	◎	◎	◎	◎	○
	各教科の定める個別審査	◎	◎	◎		
	提出書類	○	○	○	◎	

4．入学までに身に付けてほしいこと

高等学校で履修した教科に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、「思考力」、「表現力」、「協調性」など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望まれます。

学校教育課程 教職実践基礎コース

教職実践基礎コースでは、幼児期から青年期にわたる長期の発達過程を見通した上で、幼稚園・小学校・中学校・小中一貫校・義務教育学校に共通する教職に関する高い専門性を持ち、現代の教育課題に多角的に対応できる教員の養成を目標としています。

Ⅰ．求める学生像

教職実践基礎コースでは、幼稚園・小学校・中学校・小中一貫校・義務教育学校における教育に対して熱意を持って取り組み、教科全般に関わる基礎学力、また、得意とする分野の学力や技能（以下、「知識・技能」）を有し、これらを教育実践に活用しようとする教職への意欲を持っている人、現代の教育課題に対応するために、幅広い学問や文化を意欲的に学び、広い視野を身に付け、それを幼児教育・小学校教育・中学校教育・小中一貫教育に生かす思考力・表現力（以下、「思考力・表現力」）を持っている人、また、学び続ける喜びを幼児・児童・生徒と共有したいと考え、宮崎県をはじめとする地域に根ざす学校づくりの有力な一員となる協調性（以下、「協調性」）を持っている人を求めています。

２．入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜Ⅰ （宮崎県教員希望枠）	高等学校での学業成績が優秀で、宮崎県の小学校教員を目指す者を対象とし、入学者を選考します。

３．選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

選抜方法 ＼ 求める能力や適性等		知識・技能	思考力 表現力	教職への意欲	協調性
前期日程	共通テスト	◎	○		
	教科・科目に 係る個別テスト	○	◎		
	面接	○	○	◎	◎
学校推薦型選抜Ⅰ （宮崎県教員希望枠）	小論文	○	◎	◎	
	面接	○	○	◎	◎
	提出書類	○		◎	

４．入学までに身に付けてほしいこと

高等学校で履修した教科に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、「思考力・表現力」、「協調性」など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望まれます。

学校教育課程 発達支援教育コース 子ども理解専攻

子ども理解専攻では、幼児期から児童思春期にわたる子どもの心理、発達過程を見通す深い見識と理解力、教員としての使命感、責任感、教育的愛情を身に付けた教員の養成を目的としています。

Ⅰ．求める学生像

子ども理解専攻では、幼児期から児童思春期の子どもの教育に対する意欲にあふれ、教職に必要なたしかな知識・技能(以下、「知識・技能」）について研鑽を積み、目標に向けて強い意志と行動を貫くことができる思考力・主体性（以下、「思考力・主体性」)、児童・生徒への適確な指導に資する表現力（以下、「表現力」）と学校現場で子どもと保護者と信頼関係を築き、同僚と協力して問題に取り組んでいける対人関係能力（以下、「協調性」）を身に付けるための努力を怠らない人材を求めています。

2．入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜Ⅱ	一般選抜では評価が難しい多様な能力や資質を有し、意欲的でかつ本学部への志望動機が明確な入学希望者を対象とし、入学者を選考します。

3．選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

選抜方法 ＼ 求める能力や適性等		知識・技能	思考力 主体性	表現力	教職への意欲	協調性
前期日程	共通テスト	◎	○			
	教科・科目に係る個別テスト	○	◎	○		
	面接	○	◎	◎	◎	◎
学校推薦型選抜Ⅱ	共通テスト	◎	○			
	面接	○	◎	◎	◎	○
	提出書類	○	○	○	◎	○

4．入学までに身に付けてほしいこと

高等学校で履修した教科に関する基礎学力を十分に身に付けておくことが望まれます。また、「思考力・主体性」、「表現力」、「協調性」など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人コミュニケーション能力を身に付けておくことが望まれます。

学校教育課程 発達支援教育コース 特別支援教育専攻

特別支援教育専攻では、障害のある児童・生徒それぞれの発達や特徴を捉える見識と深い児童・生徒理解力を持って初等教育を施すことができ、その上で障害に基づく種々の課題や困難を改善または克服するのに必要な知識、技能、態度及び習慣を養うための指導ができる特別支援学校教員の養成を目的としています。

Ⅰ．求める学生像

特別支援教育専攻では、特別支援教育に対する意欲を持って取り組み、特別支援教育に関する学修に十分対応できる基礎学力や基礎技能（以下、「知識・技能」）を有し、目標達成に向けて強い意志と行動を貫くことができる思考力・表現力（以下、「思考力・表現力」）、愛情豊かに他者を思いやることができる協調性（以下、「協調性」）を持つ人、また、学修を通して獲得した知識・技能・行動力を教育現場に還元するための粘り強く創意工夫する力や向上心（以下、「創意工夫・向上心」）を有している人材を求めています。

２．入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜Ⅰ	高等学校での学業成績が優秀で、特別支援学校教員を目指すことに意欲的な者を対象とし、入学者を選考します。

３．選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

選抜方法 ＼ 求める能力や適性等		知識・技能	思考力 表現力	特別支援教育への意欲	協調性	創意工夫 向上心
前期日程	共通テスト	◎	○			
	教科・科目に係る個別テスト	○	◎			
	面接		○	◎	◎	○
学校推薦型選抜Ⅰ	小論文	○	◎			
	面接		○	◎	◎	○
	提出書類	◎		○		

４．入学までに身に付けてほしいこと

高等学校で履修した教科に関する基礎的学力を十分に身に付けておくことが望まれます。また、「思考力・表現力」、「協調性」など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望まれます。

（2）医 学 部

医 学 科

医学科では、臨床医、医学研究者、あるいは医学教育者として宮崎の地域医療に貢献し国際的にも活躍できる、優れた人材の育成を目標としています。

１．求める学生像

医学科では、自ら課題を見つけ解決しようとする探求心と意欲、行動力（主体性・学問への関心）を有し、医学と医療を学ぶために必要な幅広い基礎学力・応用能力（知識・技能）と他者と協調・共感できる豊かな人間性（協調性・思考力・表現力）を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる人材を求めています。

２．入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」と「後期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜Ⅱ （地域枠）	高等学校での学業成績が優秀で、宮崎県の地域医療に貢献する熱意がある入学希望者を対象とし、入学者を選考します。

３．選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

求める能力や適性等 選抜区分		知識・技能	主体性・学問への関心 協調性・思考力・表現力
前期日程・後期日程	共通テスト	◎	○
	教科・科目に係る個別テスト	○	◎
	面接		◎
学校推薦型選抜Ⅱ （地域枠）	共通テスト	◎	○
	面接		◎

４．入学までに身に付けてほしいこと

高校で履修した科目に関する基礎学力について十分な深達度を得ていることが望まれる。さらに、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身につけておくことが望まれる。

看護学科

看護学科では、看護による健康への支援を通して、社会と地域の保健医療に貢献できる人材の育成を目標としています。

Ⅰ．求める学生像

看護学科では看護職者になろうという目的意識と看護学を学ぶために必要な基礎学力（知識・技能）を有し、生活している人々の身体的・精神的健康への関心（学問への関心）、自ら課題を見つけ解決しようとする意欲と行動力（主体性）、他者への共感と円滑なコミュニケーション能力（協調性・思考力・表現力）を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる学習意欲の高い人材を求めています。

２．入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜Ⅱ	一般選抜では評価が難しい多様な能力や資質を有し、意欲的でかつ本学部への志望動機が明確な入学希望者を対象とし、入学者を選考します。

３．選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

選抜区分 ＼ 求める能力や適性等		知識・技能	主体性 学問への関心	協調性・思考力・ 表現力
前期日程	共通テスト	◎		
	面接		◎	○
学校推薦型選抜Ⅱ	共通テスト	◎		
	小論文		○	◎
	面接		◎	○

４．入学までに身に付けてほしいこと

入試科目として課しているかどうかにかかわらず国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、主体性、コミュニケーション能力など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望ましい。

また、国際化の時代にあって、海外から看護の知識を導入し、わが国の看護の成果を発信していくためにも国際語である英語を学習する必要がある。

（3）工 学 部

工学科

Ⅰ．求める学生像

工学部では、宮崎県唯一の工学系学部として、「宮崎に根ざし世界に目を向けた工学部」を目標に、人間性が豊かで、コミュニケーション能力が高く、確実な基礎学力と幅広い応用能力を身に付け、２１世紀の高度な科学技術分野や最先端技術分野で活躍できるような、問題発見・解決能力を備えた創造性豊かな技術者の育成を目指しています。そこで、以下に示す 「入学後の学修に必要な能力・適性」を多面的かつ総合的な評価手法によって選考し、受け入れます。

1) 工学技術者を目指し、地域社会や国際社会の発展に貢献する意欲がある人（主体性）
2) 自ら考え、主体的に学修する目的意識を有する人（主体性）
3) 大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な協調性及びコミュニケーションの基本的なスキルを身に付けた人（協働性、表現力）
4) 工学における多様な分野にも興味を持ち、創造性豊かな技術力と問題発見・解決能力を身に付けて社会に貢献する意欲のある人（学問への関心、思考力）
5) 工学専門分野を修得できる基礎学力を有する人（知識・理解、思考力）

２．入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」と「後期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜Ⅰ	一般選抜では評価が難しい多様な能力や資質を有し、意欲的でかつ本学部への志望動機が明確な入学希望者を対象とし、入学者を選考します。
総合型選抜Ⅰ	
私費外国人留学生選抜	外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生を対象とし、入学者を選考します。

３．選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

選抜方法 ＼ 求める能力や適性等		知識・技能	思考力 表現力	主体性 協調性 学問への関心
前期日程・後期日程	共通テスト	◎	○	
	教科・科目に係る個別テスト	○	◎	
	主体性評価			◎
学校推薦型選抜Ⅰ	筆記試験	◎		
	小論文		◎	○
	面接	○	○	◎
	提出書類	○	○	◎
総合型選抜Ⅰ	筆記試験	◎		
	小論文		◎	○
	面接	○	○	◎
	提出書類	○	○	◎
私費外国人留学生選抜	日本留学試験	◎	○	
	小論文	○	◎	
	面接	○	○	◎

４．入学までに身に付けてほしいこと

高校で履修した科目に関する基礎学力について十分な深達度を得ていることが望まれる。さらに、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身につけておくことが望まれる。

（4）農 学 部

農 学 科

Ⅰ．求める学生像

農学科では、農学の幅広い学問領域において基礎的知識や能力（農学ジェネラリティ）を備え、かつ食料、環境、資源及び生命に関する高度な専門性（実践型スペシャリスト）を有する人材の育成を目標としています。

そこで、農学科では次のような人材を求めています。

1）高等学校で履修した幅広い教科・科目を基盤とした知識や思考力を持ち、基礎科学や自然科学に強い関心を抱いている人

2）食料・生命・資源・環境に関わる課題に対する強い関心を持ち、論理的な思考及び他者との協働により、課題解決に向け地域及び国内外で貢献する意欲を持っている人

3）国際社会におけるダイバーシティの理解に努め、学修を通じて倫理観、語学力や国際的視点を修養することに意欲を持っている人

4）数理データサイエンス・AI やそれらを活用した先端技術に興味を持ち、それらを主体的に学ぶ意欲を持っている人

2．入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」と「後期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜Ⅰ 総合型選抜Ⅰ 総合型選抜Ⅱ 帰国生徒選抜 社会人選抜	一般選抜では評価が難しい多様な能力や資質を有し、意欲的でかつ本学部への志望動機が明確な入学希望者を対象とし、入学者を選考します。
私費外国人留学生選抜	外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生を対象とし、入学者を選考します。

3．選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

動植物資源生命科学コース、森林環境持続性科学コース、海洋生命科学コース

選抜方法 ＼ 求める能力や適性等		知識・技能	思考力 表現力	学問への関心	主体性 協働性
前期日程・後期日程	共通テスト	◎	○		
	教科・科目に係る個別テスト	○	◎		
	主体性評価			◎	◎
学校推薦型選抜Ⅰ	面接	○	◎	◎	◎
	提出書類	○	○	◎	○
総合型選抜Ⅰ	面接	○	◎	○	○
	模擬講義の受講及びレポート作成	○	◎	○	
	提出書類	○	○	◎	○

総合型選抜Ⅱ	共通テスト	◎	○		
	提出書類	○	○	◎	○
帰国生徒選抜	小論文		◎	◎	○
	面接	○	◎	◎	◎
	提出書類	○		○	
社会人選抜	面接	○	◎	◎	◎
	提出書類	○		○	
私費外国人留学生選抜	日本留学試験	◎	○		
	小論文		◎	◎	○
	面接	○	◎	◎	◎

応用生命化学コース

選抜方法＼求める能力や適性等		知識・技能	思考力 表現力	学問への関心	主体性 協働性
前期日程・後期日程	共通テスト	◎	○		
	教科・科目に 係る個別テスト	○	◎		
	主体性評価			◎	◎
総合型選抜Ⅰ	面接	○	◎	◎	◎
	筆記試験	◎	◎	○	
	提出書類	○	○	◎	◎
総合型選抜Ⅱ	共通テスト	◎	○		
	提出書類	○	○	◎	○
帰国生徒選抜	小論文		◎	◎	○
	面接	○	◎	◎	◎
	提出書類	○		○	
社会人選抜	面接	○	◎	◎	◎
	提出書類	○		○	
私費外国人留学生選抜	日本留学試験	◎	◎		
	小論文		◎	◎	○
	面接	○	◎	◎	◎

４．入学までに身に付けてほしいこと

生物、化学、数学、英語、情報以外にも、国語や社会など、高校で履修する教科・科目について偏りなく勉強しておく必要があります。また、大学での学修効果を高め、充実した学生生活を送るために、主体性、協働性、表現力などもあわせて身に付けておくことを望みます。

獣医学科

Ⅰ．求める学生像

獣医学科では、農学に関する基礎知識、獣医専門知識、獣医的倫理観、獣医的応用・実践・開拓力、地域・国際社会への貢献能力を身に付けた人材の育成を目標としています。

そこで、獣医学科では、次のような人材を求めています。

1）自然科学や社会的な課題に対する強い関心と、獣医学を学ぶことに対して明確な目的意識を持ち、修得した知識によって自然と共生する社会の実現に貢献する意欲を持っている人

2）国籍や言語、文化、考え方の違いを超えて、他者と協調しながら活動するために必要な語学力や自己表現力を養う意欲を持っている人

3）根拠に基づいて論理的に課題を解決するために、情報分析力、洞察力、課題探求力、思考力を養う意欲を持っている人

4）数理データサイエンス・AI やそれらを活用した先端技術に興味を持ち、それを主体的に学ぶ意欲を持っている人

5）学校推薦型選抜（地域枠）においては、獣医師として宮崎県に暮らす人々の生活を守り、地域の農林畜産業の発展に貢献する意欲を持っている人

２．入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」と「後期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜Ⅱ (地域枠)	高等学校での学業成績が優秀で、宮崎県の産業動物獣医師確保を目的とした修学資金給付事業の推薦を受け、卒業後、宮崎県職員の獣医師として勤務する意思のある者を対象とし、入学者を選考します。
私費外国人留学生選抜	外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生を対象とし、入学者を選考します。

３．選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

選抜方法 ＼ 求める能力や適性等		知識・技能	思考力 表現力	学問への関心	主体性 協働性
前期日程・後期日程	共通テスト	◎	○		
	教科・科目に 係る個別テスト等	○	◎		
	主体性評価			◎	◎
学校推薦型選抜Ⅱ (地域枠)	共通テスト	◎	○		
	面接	○	○	◎	◎
私費外国人留学生選抜	日本留学試験	◎	○		
	小論文		◎	◎	
	面接	○	○	◎	◎

４．入学までに身に付けてほしいこと

高校で履修する教科・科目について、偏りなく勉強しておく必要があります。また、大学での学修効果を高め、充実した学生生活を送るために、主体性、協働性なども身に付けておくことを望みます。

（5）地域資源創成学部

地域資源創成学部では、地域資源を活用し新たな価値を創成する企画力・実践力の育成を図り、地域の活性化に不可欠なイノベーション創出に向けたマネジメントの知識と、地域資源の価値を複眼的に捉える視野を持った人材を養成し、実社会で即戦力として活躍できる人材の輩出を目標としています。

Ⅰ．求める学生像

地域資源創成学部では地域振興に対して熱意（学問への関心）を持って取り組み、社会科学および自然科学に対する基礎学力（知識・技能）を有し、コミュニケーション能力・表現力と思考力・判断力を持つ人、また学習を通して獲得した知識･スキル･行動力を社会に還元することのできる強い意思を持った人材を求めています。

２．入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」と「後期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜Ⅰ	一般選抜では評価が難しい多様な能力や資質を有し、意欲的でかつ本学部への志望動機が明確な入学希望者を対象とし、入学者を選考します。
私費外国人留学生選抜	外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生を対象とし、入学者を選考します。

３．選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

選抜方法 ＼ 求める能力や適性等		知識・技能	思考力 表現力	学問への関心	コミュニケーション能力	主体性
前期日程	共通テスト	◎	○			
	総合問題	○	◎			
	主体性評価			◎	◎	◎
後期日程	共通テスト	◎	○			
	小論文	○	◎			
	面接			◎	◎	◎
学校推薦型選抜Ⅰ	小論文	◎	◎			
	面接		○	◎	◎	◎
私費外国人留学生選抜	日本留学試験	◎	○			
	小論文	◎	◎			
	面接		○	◎	◎	◎

４．入学までに身に付けてほしいこと

国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、科目を越えて地域を捉える姿勢、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望ましい。

2. 入学定員(募集人員)

学部	学科・課程等			入試形態	入学定員	募集人員								
						一般選抜		学校推薦型選抜		総合型選抜		帰国生徒選抜	社会人選抜	私費外国人留学生選抜
						前期日程	後期日程	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ			
教育学部	学校教育課程	小中一貫教育コース	小学校主免専攻	2/3 型＋面接入試	140	20	-	-	25	5	-	-	-	-
				理系型＋面接入試		10	-	-						
				小論文型＋面接入試		-	10	-						
			中学校主免専攻	2/3 型＋面接入試		10	-	-	7	8				
				理系型＋面接入試		10	-							
		教職実践基礎コース		2/3 型＋面接入試		8	-	7	-	-				
		発達支援教育コース	子ども理解専攻	2/3 型＋面接入試		7	-	-	3	-				
			特別支援教育専攻	2/3 型＋面接入試		7	-	3	-	-				
	小　計				140	72	10	10	35	13	-	-	-	-
医学部	医学科				100	45	15	-		-	-	-	-	-
			地域枠A			-	-		10					
			地域枠B						15					
			地域枠C						15					
	看護学科				60	35	-		25					
	小　計				160	80	15	-	65	-	-	-	-	-
工学部	工学科				370	200	93		-		-	-	-	若干人
			化学生命プログラム					9		2				
			土木環境プログラム					13		2				
			半導体サイエンスプログラム					9		2				
			電気電子システムプログラム					10		2				
			機械知能プログラム					12		2				
			情報通信プログラム					12		2				
	小　計				370	200	93	65	-	12	-	-	-	-
農学部	農学科				235	109	43					若干人	若干人	若干人
			動植物資源生命科学コース					15	-	8	12			
			森林環境持続性科学コース					7	-	3	5			
			海洋生命科学コース					2	-	4	14			
			応用生命化学コース					-	-	10	3			
	獣医学科				30	20	10	-	若干人（上限2名）	-	-	-	-	
	小　計				265	129	53	24	-	25	34	-	-	-
地域資源創成学部	地域資源創成学科				90	50	15	25	-	-	-	-	-	若干人
	小　計				90	50	15	25	-	-	-	-	-	-
合　計					1,025	531	186	124	100	50	34			

（備考）

1．一般選抜の各募集人員には、農学部獣医学科の学校推薦型選抜Ⅱ（地域枠）、帰国生徒選抜、社会人選抜、私費外国人留学生選抜の募集人員（それぞれ若干人）を含みます。

2．教育学部の一般選抜のうち、小中一貫教育コース中学校主免専攻、教職実践基礎コース及び発達支援教育コースについては前期日程のみで実施します。また、医学部の一般選抜のうち、看護学科については前期日程のみで実施します。

3．学校推薦型選抜の入学者が募集人員に満たない場合は、教育学部、医学部看護学科及び農学部農学科は前期日程、地域資源創成学部は後期日程の募集人員にその満たない人員を加えます。なお、教育学部学校教育課程小中一貫教育コース小学校主免専攻及び中学校主免専攻は、それぞれ【2/3 型＋面接入試】に加えます。医学部医学科地域枠 A・B・C は、募集人員を満たした別の推薦枠に満たない人員を加えます。これでも募集人員に満たない場合は、前期日程の募集人員にその満たない人員を加えます。工学部宮崎県就職希望枠、女子枠、一般枠は、募集人員を満たした別の推薦枠に満たない人員を加えます。これによっても募集人員に満たない場合は、総合型選抜の募集人員にその満たない人員を加えます。これでも募集人員に満たない場合は、前期日程の募集人員にその満たない人員を加えます。農学部農学科動植物資源生命科学コースの専門学科等区分において、畜産枠・農業枠のいずれかの合格者が募集人員に満たない場合は、募集人員を満たした枠にその満たない人員を加えます。

4．総合型選抜の入学者が募集人員に満たない場合は、教育学部は前期日程の【2/3 型＋面接入試】、農学部は前期日程の募集人員にその満たない人数を加えます。工学部は学校推薦型選抜の募集人員にその満たない人員を加えます。これでも募集人員に満たない場合は、前期の募集人員にその満たない人員を加えます。

○教育学部学校教育課程について

１．小中一貫教育コースの専修決定について

教育学部学校教育課程小中一貫教育コースでは、入学後、一つの教科を専修とします。専修とすることのできる教科は、小学校主免専攻、中学校主免専攻ともに国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、家庭及び英語です。さらに小学校主免専攻においては、技術も専修とすることができます。

中学校主免専攻においては技術を専修とすることはできませんが、他の教科を専修として技術の中学校教諭１種、あるいは２種免許を取得することが可能です。また、小学校主免専攻において、技術を専修として、技術の中学校教諭１種、あるいは２種免許を取得することが可能です。

なお、決定方法は次のとおりです。

小学校主免専攻：本人の希望を考慮した上で、入学後に決定します。

中学校主免専攻：出願時に選択した教科が専修となります。なお、総合型選抜以外の入試区分については、出願時に選択した教科が合否判定に影響することはありません。

２．入学後のコース等の変更について

学校推薦型選抜及び総合型選抜での入学者は、原則としてコース・専攻等の変更はできませんので注意してください。

３．「こども性暴力防止法」の施行に伴う実習等に関するお知らせ（19 ページ掲載）に係る補足について

教育学部では、特定性犯罪がある場合、学校等における実習及び児童等と接する諸活動を行うことができないため、教員免許状に必要な教育実習等の単位を修得することができません。

また、卒業のための必須科目となっている教育実習等の単位が修得できない場合、卒業要件を満たすことができず、原則、卒業することができません。

以上をご理解いただいた上で、出願を検討いただきますようお願いいたします。

［教育学部に関するお問い合わせ先］
宮崎大学教育学部教務・学生支援係　TEL：0985-58-2891

○工学部について

１．一般選抜について

工学部工学科の一般選抜（前期・後期）では、出願時に全６プログラム（化学生命・土木環境・半導体サイエンス・電気電子システム・機械知能・情報通信）に対して、第１志望から順に最大第６志望まで選んで出願することができます。

合格判定は、工学部工学科の全受験者を大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テストならびに主体性評価の総合得点順に並べ、得点上位者から受験者の志望に応じて順次、合格者を決定します。

各プログラムの目安定員は以下のとおりです。

学　科	プログラム（１年次：系）	前期日程		後期日程	
		募集人員	目安定員	募集人員	目安定員
工学科	化学生命プログラム（１年次：化学生命系）	200	37	93	17
	土木環境プログラム（１年次：土木環境系）		28		12
	半導体サイエンスプログラム（１年次：半導体サイエンス系）		22		17
	電気電子システムプログラム（１年次：電気電子システム系）		31		15
	機械知能プログラム（１年次：機械知能系）		37		13
	情報通信プログラム（１年次：情報通信系）		45		19

２．プログラム配属について

一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜及び私費外国人留学生選抜における合格者は、入学時に合格したプログラムへ仮配属（系に配属）されます。

※入学時に、合格した各プログラムとリンクする「系」に配属（いわゆる仮配属）します。１年次は、希望する分野やその関連分野、異分野の学問体系や研究内容、就職先等について横断的に概観し、自分の本当にやりたいことの意識付けとキャリアデザインの初設計の期間に充てています。

１年次の授業で各プログラムについて理解を深め、２年次から各プログラムへ本配属されます。基本的には同じ系からプログラムへ本配属されますが、一般選抜、私費外国人留学生選抜での合格者は１年次系内で成績が上位 25%かつ受入定員（プログラム目安定員の10%程度）内であれば、２年進級前に、異なるプログラムを希望することも可能です。

※希望者数が受入定員を超過した場合には、工学部が定めた基準による成績順に、受入定員まで配属することとしています。

※学校推薦型選抜及び総合型選抜での合格者は、異なるプログラムへ希望することはできませんので、注意してください。

［工学部に関するお問い合わせ先］
宮崎大学工学部教務・学生支援係　TEL：0985-58-2874

○農学部農学科について

１．一般選抜について

農学部農学科の一般選抜（前期・後期）では、出願時に全４コース（動植物資源生命科学コース、森林環境持続性科学コース、海洋生命科学コース、応用生命化学コース）から最大第４志望まで選んで出願することができます。合格判定では、農学部農学科の全受験者を大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テストならびに主体性評価の総合得点順に並べ、得点上位者から受験者の志望に応じて順次、合格者を決定します。合格判定過程で、出願時に記入した志望コース全てにおいて、既にコース仮配属（下記２．コース配属についてを参照）上限数に達していた場合は合格者とはなりません。

志望コースは第４志望まで全て記入する必要はありませんが、記入した志望コース全てでコース仮配属上限数に達していた場合は、合格最低点以上であっても志望の記入がないコースでの合格判定は行われませんので、仮配属を希望するコース名は出願時に全て記入しておいてください。記入されていないコースには入学する意思がないとみなします。各コースの目安定員は以下のとおりです。

学科	コース	前期日程		後期日程	
		募集定員	目安定員	募集定員	目安定員
農学科	動植物資源生命科学コース	109	50	43	15
	森林環境持続性科学コース		23		12
	海洋生命科学コース		12		8
	応用生命化学コース		24		8

２．コース配属について

合格者は、入学時に合格したコースへ仮配属され、１年次は学科共通の基盤となる基礎的な学問体系にかかる理解を深め、キャリアデザインについても意識を高めていく期間に充てています。２年進級時に各コースへ本配属となり、専門性を高めて行きます。基本的には仮配属コースと同じコースに本配属されますが、一般選抜での合格者は、各コースの定める追加受入上限数の範囲内（各コース若干名）で、２年進級時に仮配属コースとは違うコースにコース移動することも可能です。

コース移動希望者数が追加受入上限を超過した場合には、農学部が定めた基準による成績順に、追加受入上限数に達するまで配属します。

なお、学校推薦型選抜、総合型選抜、帰国生徒選抜、社会人選抜及び私費外国人留学生選抜での合格者は、仮配属コースとは異なるコースへの本配属を希望することはできません。

［農学部に関するお問い合わせ先］
宮崎大学農学部教務・学生支援係　TEL：0985-58-3834

3. 出願資格

本学に出願できる者は、次の（１）～（３）のいずれかに該当し、かつ、令和９年度大学入学共通テストのうち本学が指定した教科・科目（第１解答科目の指定を含む。29～35 ページ参照）を受験した者とします。

（１）高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和９年３月までに卒業見込みの者

（２）通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和９年３月までに修了見込みの者

（３）学校教育法施行規則第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和９年３月 31 日までにこれに該当する見込みの者

※高等学校には中等教育学校、特別支援学校高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有する者として認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。

※上記（３）に該当する者のうち、学校教育法施行規則第 150 条第７号の規定により個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18 歳に達した者には入学資格を認めます。

本学の個別の入学資格審査により入学資格の認定を受けようとする者は、本学学び・学生支援機構入試課までお問い合わせください。

※詳細は、宮崎大学ホームページをご確認ください。
https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/admission/require.html

【注】大学入学共通テストのうち本学が指定した教科・科目等（第１解答科目の指定を含む。）を受験していない場合には、出願無資格者とします。その場合は教科・科目に係る個別テスト等を受験できませんので、十分に留意してください。

出願時の注意事項

（１）「こども性暴力防止法」の施行に伴う実習等に関するお知らせ

こども性暴力防止法の施行により、2026年12月25日より、学校や保育所、学習塾など、児童等※に対して教育・保育などを行う事業者には、性暴力を防ぐための取組が求められます。

このことにより、児童等と接する業務に従事する者について、特定性犯罪前科の有無を確認する制度が適用されます。

本学学生が教育実習や保育実習、その他インターンシップやボランティア活動等（以下、「実習等」という。）に参加し児童等と接する業務に従事する場合も本制度の対象となります。

つきましては、以下の内容をご確認いただいたうえで、出願を検討いただきますようお願いいたします。

※児童等：幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校、幼保連携型認定こども園に在籍する幼児、児童または生徒、18歳未満の者、高等専門学校の1～3年生、専修学校の学生

１．児童等と接する実習等を履修する学生への法に基づく犯罪事実確認について

実習等を行う前に、実習施設から特定性犯罪前科の有無の確認が行われる可能性があります。特定性犯罪前科の確認が必要であると判断された場合、実習生本人よりこども家庭庁への戸籍等の提出が必要となります。確認の結果、特定性犯罪前科が確認された学生は当該実習を行うことはできません。

２．卒業要件について

児童等と接する実習等が卒業のための必須科目となっている学部・学科においては、当該実習等が行えない場合、卒業要件を満たすことができず、卒業できない可能性があります。

３．免許・資格の取得について

特定性犯罪前科がある場合、児童等と接する実習等を行うことができないことにより、免許や資格が取得できなくなる可能性があります。

特に教員免許状については、特定性犯罪前科が確認され、児童等と接する実習等を行うことができない場合、本学では教員免許状に必要な単位を修得することができないため、普通免許状を取得することはできません。

４．入学手続き時及び入学後の対応について

本学では、入学手続き時に以下の同意書および誓約書を提出いただきます。

・実習施設等が行う「犯罪事実確認」への同意書

・特定性犯罪前科がないことについての誓約書（※当該実習が卒業要件となる学部等）

また、入学後に児童等と接する実習等を行う段階で、改めて上記誓約書の提出を求めます。

なお、その他の学部・学科においても、入学後、児童等と接する実習等を行うこととなった場合、その段階で同様の誓約書の提出を求めます。

（参考）制度の詳細はこちらをご覧ください。

こども家庭庁ホームページ「こども性暴力防止法（学校設置者等および民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）」

リンク：https://www.cfa.go.jp/policies/child-safety/efforts/koseibouhou

（２） 障がい等のある入学志願者の事前相談

障がい等があり、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、出願書類提出前に宮崎大学学び・学生支援機構入試課へご相談ください。相談内容によっては本学において事前の準備を必要とする場合がありますので、できるだけ早急にご相談ください。

次表に相談例を示しますので参考にしてください。ただし、この相談例に限定するものではありません。

①相談期限

相談期限は、**令和８年12月 18日（金）**までとします。

相談期限以降でも、不慮の事故等のため受験上・修学上の配慮を必要とされる場合については、早急に宮崎大学学び・学生支援機構入試課へ連絡してください。

②相談方法

宮崎大学のホームページから相談申請書をダウンロードして、次の内容を記載し、医師の診断書等を添えて提出してください。（郵送可）

ア　志願者氏名・選抜区分・志望学部・学科・課程・プログラム・コース
イ　障がい等の種類・程度
ウ　受験上・修学上の配慮を希望する事項
エ　出身学校でとられていた配慮事項
オ　日常生活の状況
カ　住所及び連絡先の電話番号

なお、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る関係者との面談等を行うことがあります。

※相談申請書ダウンロード先：https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/admission/1789-2.html

③相談先

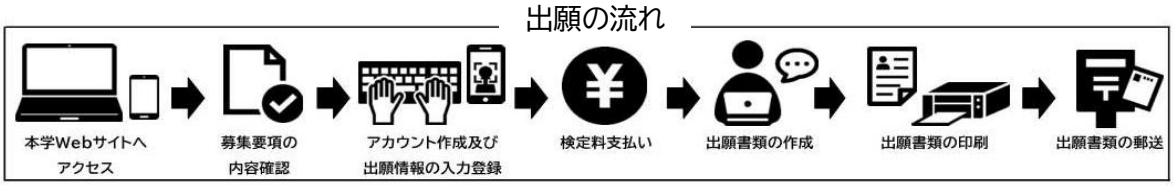
〒889-2192　宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学学び・学生支援機構入試課
電　話：0985-58-7138
ＦＡＸ：0985-58-2865
（土曜日・日曜日及び祝日を除く）

相　談　例	
①視覚障がい	拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は困難なもの
②聴覚障がい	通常の話声を解することが不可能又は困難なもの（補聴器等を使用しているものを含む）
③肢体不自由	1．肢体不自由により、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難なもの 2．肢体不自由により、常時の医学的観察指導を必要とするもの
④病弱	1．慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患により、医療又は生活規制を必要とするもの 2．身体虚弱により、生活規制を必要とするもの
⑤発達障がい	自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がい等のため配慮を必要とするもの
⑥その他	①～⑤以外の者で配慮を必要とするもの（例：吃音など）

4. 出願手続

入学を志願する者は、次の（１）～（５）により、手続きを行ってください。
Web 出願登録後、入学検定料を支払い、（２）の提出書類を郵送することで、出願完了となります。
（５）の受付期間内に提出書類の提出がない場合、出願未完了（登録データは無効）となりますので、注意してください。

出願の流れ



（１）インターネットを利用した出願情報の登録及び入学検定料の支払い

① インターネットによる出願情報の登録及び入学検定料17,000円の支払い（以下、「Web出願登録」という）が必要です。また、検定料に加えて支払方法に応じたシステム利用料が必要です。クレジットカード決済は340円、コンビニ決済及びPay-easy決済は250円です。システム利用料に改定があった場合は、改定後の金額となります。
※個人成績開示を希望する場合は、開示手数料800円を入学検定料と併せてお支払いください。
なお、クレジットカード決済を利用する場合は、別途システム利用料として16円が加算されます。
＜Web出願登録システム＞
https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/department-exam/Internet-apply.html
※システムについては、パソコンからの操作を推奨します。

② インターネット環境以外で事前準備が必要となる主な事項は、次のとおりです。
ア．入学検定料の支払い方法を確認してください。クレジットカード、コンビニエンスストア及びPay-easy決済のいずれかで支払い可能です。
イ．電子メールアドレスが必要です。フリーメールのアドレスやスマートフォン・携帯電話の電子メールアドレスも利用可能です。なお、**高等学校等卒業後も使用できるメールアドレスを推奨します。**（Web出願システムからのメールは、「nyushi-j@miyazaki-u.ac.jp」から送信されますので、受信できるように予め設定等を確認してください。）
ウ．受験票及び写真票に使用する写真データが必要です。上半身脱帽正面向き無背景で、直近３か月以内に撮影した100ＫＢ～５ＭＢサイズの jpg 又は png データをアップロードしてください。
鮮明な画像（カラー・白黒は問いません。）であれば、スマートフォンやデジタルカメラ等で撮影した写真でも構いませんが、アプリ等で加工・修正を施したものは使用できません。
エ．Ａ４サイズの用紙が印刷できるプリンタ（モノクロ、カラーどちらでも可）が必要です。印刷用紙は普通紙で構いません。（出願情報の登録内容を印刷する必要があります。）
オ．「（２）提出書類」の「② 出願者が準備する必要提出書類」を用意してください。書類の内容によっては、準備に時間を要するものがあります。

③ 自宅や在籍する学校・予備校等に、Web出願登録ができる環境が整っていない場合は、事前に、宮崎大学学び・学生支援機構入試課（0985-58-7138）まで相談してください。

※本学の指定する激甚災害により被災した志願者については、検定料免除の特別措置を希望することができます。以下のURLを参照し、該当する方は出願前に必ず本学学び・学生支援機構入試課（0985-58-7138）へ連絡してください。
＜激甚災害により被災した志願者の入学検定料免除について＞
https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/admission/nk-menjo.html

④ **よくある質問**

Q.Web出願システムからスマートフォンに出力されたファイルがどこに保存されているかわかりません。

A.以下の機種別ガイドを参考にしてください。

iPhone、iPadユーザーの場合：[Appleのガイド] https://support.apple.com/ja-jp/102570

Androidユーザーの場合：Android製品は機種ごとにファイルの保存場所が異なる場合があります。お使いの機種に合わせて、以下の例に従い検索を試みてください。ネット検索で「[お使いの機種名]ファイル保存場所」を検索してください。設定メニューで、ファイル管理アプリ（例：ファイルマネージャー、My Filesなど）を開き、「最近」または「ダウンロード」セクションを確認してください。

具体的な手順が不明な場合や追加のサポートが必要な場合は、お使いの機種のサポートセンターにお問い合わせください。

Q.Web出願に関する電子メールが届きません。

A.Web出願時のメールアドレスに送信していますので、迷惑メールなどのフォルダに着信していないかご確認ください。

Q.Web出願が問題なく終わっているか確認したいです。

A.Web出願システムの「出願申し込み一覧」でご確認ください。出願のステータスは、2月９日を目安に順次「提出書類受理」へ変更されます。また、2月10日以降は「受験(受検)票出力可能」へと変更されます。

電話等による出願書類到着確認の問い合わせには応じていません。到着確認を行いたい場合は、郵便追跡サービス(郵送時に郵便局で発行される受領証等に記載されている「お問い合わせ番号」が必要です。)をご利用ください。

（2）提出書類

Web出願登録完了後、市販の角形２号封筒（240mm×332mm）に次の①及び②の書類等を入れて提出してください。

①Web 出願システムから登録・印刷（A4 サイズで印刷）

提出書類	摘　　要
志願票	Web 出願登録及び入学検定料支払い後、A4 用紙に印刷したもの。 検定料支払い後は、登録内容は変更できませんので支払い前に間違いがないか十分確認してください。 大学入学共通テスト成績請求情報の提供手続について 本学では「Web 方式」を採用します。 大学入学共通テストの成績請求情報の提供手続（Web 方式）に必要な情報（下記①～③）を事前に準備のうえ、登録期間内に本学 Web 出願システムに登録してください。 ① ユーザーID ② パスワード ③ 申込番号
宛名ラベル	角形２号封筒の表面に宛名ラベルを貼り付けて、その封筒の中に提出書類を全て封入のうえ、提出してください。
履歴書 ※**医学部医学科**及び **看護学科（前期日程）**のみ	**出願資格に関わらず全員**Web出願システム上で入力後、A4用紙に印刷し提出してください。 ※高等学校等を既に卒業している者は、高等学校等から現在までの**履歴事項を空白の期間がないように記入**してください。（予備校生・自宅学習等の期間も記入してください。） ・併願する場合、**前期・後期日程毎に1部ずつ**作成してください。
自己推薦書 ※**医学部医学科**及び **看護学科（前期日程）**のみ （**自筆**）	Web 出願登録及び入学検定料支払い後に A4 用紙に印刷し、記入上の注意に従い**自筆**で記入したものを提出してください。 前期日程と後期日程ともに医学科を併願する場合は1部作成し、前期日程用の封筒に入れ提出してください。 前期日程と後期日程で異なる学科を志願する場合は、それぞれ1部ずつ作成してください。
諸活動における自己申告書 **※地域資源創成学部** 前期日程のみ	Web出願システム上で入力後、A4用紙に印刷し提出してください。 高等学校等を既に卒業した者、卒業見込みの者等出願資格に関わらず全員提出してください。

② 出願者が準備する提出書類（必要に応じ黒ボールペン又は黒ペンを使用してください。）
本学所定の様式は本学ホームページからダウンロードしてください。
URL ：https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/department-exam/ippan.html

提出書類	摘　　要
調査書等	以下のうち該当するものを提出してください。 **1．高等学校又は中等教育学校を卒業（見込み）の者、 特別支援学校の高等部を修了（見込み）の者** ・文部科学省で定めた様式により出身学校長が作成し厳封したもの。 ※令和８年４月以降に発行されたものを提出してください。 ◎調査書を提出できない者については、以下のとおりとします。 出身高等学校等における指導要録の保存年限経過及び廃校、被災その他の事情により調査書を発行できない場合 ・「単位修得証明書」及び「卒業証明書」 ただし、「単位修得証明書」も保存年限経過のために提出ができない場合 高等学校等が作成した「調査書及び単位修得証明書が発行できない旨の証明書」を「卒業証明書」と併せて提出してください。 **2．高等学校卒業程度認定試験等に合格した者** 当該試験の「合格成績証明書」をもって代えることができます。ただし、高等学校等での取得単位を有する場合は、当該高等学校等の「成績証明書」を添付してください。 **3．その他修了等（見込み）の者** ① 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了したもの ・調査書の様式に準じて出身学校長が作成したもの。 ② 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの ・出身高等学校の卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込み証明書及び成績証明書（出身学校長が作成したもの、原本に限る。） また、日本の高等学校又は中等教育学校に在学したことがある場合は、併せて在学高等学校長又は中等教育学校長の作成した所定の調査書又は成績証明書（原本に限る。） なお、記載事項内容（科目名、成績等）が記号等で示されている場合は、必ずその説明文を付してください。 **4．外国の大学入学資格取得者** ① 国際バカロレア資格を取得した者は、その資格証書（写し）及び最終試験６科目の成績評価証明書 ② アビトゥア資格を取得した者は、成績の記載されている一般的大学入学資格証明書（写し） ③ バカロレア資格を取得した者は、バカロレア資格証書（写し）及びバカロレア資格試験成績証明書 ④ GCE-A レベル資格を取得した者は、その成績評価証明書 ⑤ 国際 A レベル資格を取得した者は、その成績評価証明書 ⑥ 欧州バカロレア資格を取得した者は、その資格証書（写し）及び欧州バカロレア資格試験成績証明書 5．**国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBIS）の認定を受けた外国に所在する教育施設に置かれる 12 年の課程を修了した者** 当該課程の修了（見込み）を証明する書類、成績証明書及び当該教育施設が認定を受けていることを証明する書類を提出してください。

英語の資格・検定試験の 成績証明書等 ※**工学部**のみ	工学部(前期日程)を志願する者で当該書類による英語の試験の免除を希望する者は、40 ページ記載の表に掲げる成績証明書等（原本、写し不可）のいずれかを提出してください。 なお、「外国語検定試験の成績証明書等（原本)」を提出する者で返却を希望する者は、790 円分の切手を貼った「返信用封筒（角形２号)」に郵便番号、住所、氏名を記載し、他の出願書類と一緒に必ず同封してください。
活動報告書 ※**工学部、農学部**のみ	調査書を提出できない者は、本学所定の様式（A4 サイズ）に、本人自筆で記入してください。
入学資格認定書（写） ※個別の入学資格認定者のみ	本学が交付した入学資格認定書の写しを提出してください。

調査書の記載についての注意事項（出身高等学校長の皆様へ）

●全学部共通事項

①「２．各教科・科目等の学習の記録」欄の「修得単位数の計」は必ず記入してください。また、第３学年における「評定」欄を記載できない場合は、その理由を付してください。

②「校長名」及び「記載責任者職氏名」は必ず明記し、押印（写しは不可）してください。

③志願者本人に帰責されない身体・健康上の理由*によるやむを得ない欠席日数があることを、調査書等から把握した場合には、志願者が不利益を被ることがないよう配慮します。

*病気・事故等。例えば、新型コロナウイルス感染症のいわゆる罹患後症状と考えられる症状や月経随伴症状等も含みます。

（3）提出方法等

1）Web出願登録及び入学検定料支払い後にWeb出願システムから宛名ラベルを印刷してください。市販の角形２号封筒（240mm×332mm）に貼り付け、（２）の提出書類を全て入れ、**郵送（一般書留・速達）**でお送りください。

2）提出書類に不備がある場合には受理しないことがありますので十分注意してください。

3）試験日程グループ間の併願について、「前期日程－前期日程」、「後期日程－後期日程」の併願はできません。

なお、本学においては「前期日程－後期日程」の併願ができます。その際、それぞれの日程で異なった学部・学科（課程）等を志望することも可能です。

（4）提出先

〒889-2192　宮崎市学園木花台西１丁目１番地
宮崎大学　学び・学生支援機構入試課（事務局棟１階）
電　話：0985-58-7138　　ＦＡＸ：0985-58-2865

（5）提出書類（出願書類）の受付期間等

出願期間　令和９年１月 25 日（月）から２月３日（水）17 時まで（必着）

1）　提出は原則、郵送とします。
ただし、出願期間の平日９時から17時まで持参可能です。

2）　郵送の場合は必ず**一般書留・速達**とし、**入試課へ期間内必着（17時必着）**です。**期間内に到着しない場合は受理しませんので、郵便事情を考慮して十分余裕をもって発送してください。**
また、**電話等による出願書類到着確認の問い合わせには応じていません。**到着確認を行いたい場合は、郵便追跡サービス（郵送時に郵便局で発行される受領証等に記載されている「お問い合わせ番号」が必要です。）をご利用ください。

3）　Web出願登録期間については、令和９年１月22日（金）から事前に登録可能です。
なお、Web出願登録だけでは、出願手続きは完了しません。その後、入学検定料を支払い、上記の受付期間内に(2)の提出書類を全て郵送又は持参することで完了します。

（６）注意事項

１）Web 出願システムにおいて出願登録を完了した後は、志望学部、志望学科・課程（コース・プログラム・専攻）、教科・科目に係る個別テスト**選択科目の変更は認めません。**

※登録内容に誤りがある場合、検定料の支払い前であれば、出願情報を削除し、最初から登録をやり直すことができます。

検定料の支払い後は出願情報の削除ができません。変更が必要な場合は、改めて出願登録及び検定料をお支払いいただく必要があります。

なお、検定料の返還については、下記「返還請求方法」をご参照ください。

２）提出書類に不備がある場合には受理しないことがありますので十分注意してください。

３）受付後の提出書類等は返還しません。

４）出願手続及び入学手続において不正な行為があった場合は、合格及び入学許可を取り消すことがあります。

５）提出書類受付後に大学入学共通テスト科目の不足等による出願無資格者であることが判明した者に対しては、13,000 円を返還します。

６）医学部医学科において、２段階選抜を実施した場合、第１段階選抜の不合格者に対しては 13,000 円を返還します。

７）既納の検定料及び個人成績開示請求手数料は、以下の場合を除き、返還いたしません。

① 提出書類を郵送又は持参しなかった場合

※Web 出願登録だけでは、出願手続きは完了しません。その後、入学検定料を支払い、(5)の受付期間内に(2)の提出書類を全て郵送又は持参することで完了します。

② 提出書類の不備や出願資格を満たさない等の理由により出願が受理されなかった場合

③ 誤って二重に支払った場合

返還請求の方法

検定料返還申請書を以下の本学ホームページからダウンロードし作成のうえ、指定の送付先へ**令和9年3月 31 日（必着）まで**に、速やかに郵送してください。なお返還にかかる手数料は、原則、志願者本人の負担とします。また、令和９年４月１日以降に申し出られた場合、返還に応じることはできませんのでご了承ください。

※入学検定料返還手続きについて
https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/admission/nk-henkan.html

【検定料返還申請書送付先】
〒889-2192　宮崎市学園木花台西１丁目１番地
宮崎大学財務部財務課出納係
電話：0985-58-7122（土曜日・日曜日及び祝日を除く）

5． 教育学部、工学部及び農学部における第2志望等について

教育学部、工学部及び農学部については、以下のとおり第２志望等ができます。「９（６)第２志望等の選抜方法」（39 ページ）及び「16．追加合格」（47 ページ）も参照してください。

なお、医学部及び地域資源創成学部においては前期日程、後期日程ともに第２志望選抜は行いません。

（１）教育学部

１）教育学部の前期日程で２/３型＋面接入試「学校教育課程小中一貫教育コース小学校主免専攻又は中学校主免専攻」を志願する場合、第１志望の専攻に加えて、「 」内の別の専攻を第２志望とすることができます。

２）教育学部の前期日程で理系型＋面接入試「学校教育課程小中一貫教育コース小学校主免専攻又は中学校主免専攻」を志願する場合、第１志望の専攻に加えて、「 」内の別の専攻を第２志望とすることができます。

３）第１志望の専攻と第２志望の専攻が同一の場合又は第２志望の専攻が未記入の場合は、第１志望の専攻でのみ合否判定します。

（２）工学部

出願時に全６プログラム（化学生命・土木環境・半導体サイエンス・電気電子システム・機械知能・情報通信）に対して、第１志望から順に最大第６志望まで選んで出願することができます。

（３）農学部農学科

出願時に全４コース（動植物資源生命科学、森林環境持続性科学、海洋生命科学、応用生命化学）に対して、第１志望から最大第４志望まで選んで出願することができます。

6． 受験票の印刷及び選択科目の確認

（１）**令和９年２月10日(水)**以降に、Web 出願システムの「出願状況確認」から受験票の印刷が可能となります。A４用紙に印刷し、受験時に必ず持参してください。
（医学部医学科は「７ 第１段階選抜による結果通知」を参照してください。）

（２）**申請した選択科目の変更は認めませんので、出願時に志願票の「教科・科目に係る個別テスト選択科目」欄で再確認してください。**

（３）教科・科目に係る個別テスト等受験の際は、**宮崎大学入学試験受験票と大学入学共通テスト受験票の両方**が必要ですので、大切に保管しておいてください。

また、試験当日は身分証明書も必ず持参してください。詳しくは、「11.受験上の注意事項」（44 ページ）を参照してください。

7． 第1段階選抜による結果通知

（１）医学部医学科（前期日程・後期日程）において、入学志願者が募集人員を大幅に上回り、教科・科目に係る個別テスト等を適切に行うことが困難な場合には第１段階選抜を行うことがあります。

第１段階選抜は大学入学共通テストの成績により行い、原則として前期日程については募集人員の約６倍、後期日程については募集人員の約 14 倍までを合格者とし、その合格者に対して教科・科目に係る個別テスト等を行います。

大学入学共通テストの利用教科・科目、配点等は学科の前期日程・後期日程に準じます。

（２）第１段階選抜の結果は、前期日程・後期日程とも令和９年２月 10 日（水）10 時頃に、本学ウェブサイトに、宮崎大学一般選抜の「受験番号」を掲載します。電話等による合否の問合せには、一切応じません。
本学ウェブサイト
URL https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/department-exam/passnum.html
※合格者発表直後は、ウェブサイトへの接続に時間がかかることが予想されますので、その場合はしばらく経ってからアクセスしてください。

また、合格者は上記６（１）と同様の方法で正午までに受験票及び受験案内が印刷可能となります。

（３）第１段階選抜不合格者の検定料返還については、不合格者からの請求により、検定料を一部返還します。返還の方法については、27 ページの注意事項内「返還請求の方法」により行ってください。

（４）２段階選抜を実施しない場合は、その旨を令和９年２月 10 日（水）10 時頃に本学のホームページにおいて公表します。正午までに志願者全員が上記６（１）と同様の方法で受験票が印刷可能となります。

（５）受験票等が令和９年２月 12 日（金）までに確認できない場合は、至急入試課へ照会してください。

8. 選 抜 方 法

入学者の選抜は、大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等及び調査書の結果等を総合して行います。

9. 入学者選抜の実施教科･科目等

大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テストの受験教科・科目等は、30～35 ページのとおりです。志望する学部・学科課程（コース・専攻等）の指定した教科・科目を確実に受験してください。

なお、大学入学共通テストにおいて、指定した教科・科目（第Ⅰ解答科目の指定を含む）を受験していないことが判明した場合、出願無資格者として取り扱いますので、注意してください。

また、教科･科目に係る個別テスト等において、指定した教科･科目等を１つでも受験していない者は、合否判定の対象となりませんので、注意してください。

（1）教科・科目名の表記について

Ⅰ）大学入学共通テストの教科・科目名は、次のように表記しています。

教科名	科　　目　　名
国語→国	『国語』→『国語』
地理歴史、公民 →地歴公民	『地理総合，地理探究』→『地総，地探』、『歴史総合，日本史探究』→『歴総，日探』、 『歴史総合，世界史探究』→『歴総，世探』、『公共，倫理』→『公共，倫理』、 『公共，政治・経済』→『公共，政経』、『地理総合／歴史総合／公共』→『地総／歴総／公共』
数学→数	『数学Ⅰ，数学 A』→『数Ⅰ，数 A』、『数学Ⅰ』→『数Ⅰ』、『数学Ⅱ，数学 B，数学 C』→『数Ⅱ，数 B，数 C』
理科→理	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』→『物基／化基／生基／地基』 『物理』→『物』、『化学』→『化』、『生物』→『生』、『地学』→『地学』
外国語→外	『英語』→『英』、『ドイツ語』→『独』、『フランス語』→『仏』、『中国語』→『中』、『韓国語』→『韓』
情報→情	『情報Ⅰ』→『情Ⅰ』

※理科の『基礎を付した科目』とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指し、『基礎を付していない科目』とは、物理、化学、生物、地学を指します。

2）教科・科目に係る個別テスト等の出題科目名は、上記Ⅰ）と同様に表記するほか、次のように表記しています。

科目名	『数学Ⅲ』→『数Ⅲ』、『英語コミュニケーションⅠ』→『英コⅠ』、 『英語コミュニケーションⅡ』→『英コⅡ』、『英語コミュニケーションⅢ』→『英コⅢ』、 『論理・表現Ⅰ』→『論・表Ⅰ』、『論理・表現Ⅱ』→『論・表Ⅱ』、『論理・表現Ⅲ』→『論・表Ⅲ』

（2）教科・科目等

① 教 育 学 部

前期日程

●2/3型＋面接入試（注◎）

＜課程・コース及び募集人員＞　学校教育課程　小中一貫教育コース　小学校主免専攻：20人　中学校主免専攻：10人

教職実践基礎コース　8人

発達支援教育コース　子ども理解専攻：7人　特別支援教育専攻：7人

大学入学共通テストの利用教科・科目名		教科・科目に係る個別テスト等		大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等の配点等								
教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	情報	面接	配点合計
国	国語	国	現代の国語・言語文化	共通テスト	200	200	200	100	200	100		1000
数	（数Ⅰ、「数Ⅰ，数A」から1）と「数Ⅱ，数B，数C」の2	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C から2			100		200				
地歴公民	「地総，地探」、「歴総，日探」、「歴総，世探」、「公共，倫理」、「公共，政経」、（「地総／歴総／公共」から2） から1又は2	外	英コⅠ・英コⅡ・「論・表Ⅰ」・「論・表Ⅱ」 から2	教科・科目に係る個別テスト等	100＊		100＊		100＊		300	500
理	物，化，生，地学，（物基／化基／生基／地基から2）から1又は2 から3（注☆）	その他	面接									
外	英（ﾘｽﾆﾝｸﾞを含む）、独，仏，中，韓から1		［2教科2科目］	計	300＊	200	300＊	100	300＊	100	300	1500
情	情Ⅰ					100		200				
	［6教科8科目・7教科8科目］											

●理系型＋面接入試（注◎）

＜課程・コース及び募集人員＞　学校教育課程　小中一貫教育コース　小学校主免専攻：10人　中学校主免専攻：10人

大学入学共通テストの利用教科・科目名		教科・科目に係る個別テスト等		大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等の配点等								
教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	情報	面接	配点合計
国	国語	国	現代の国語・言語文化	共通テスト	200	100	200	300	200	100		1100
数	（数Ⅰ、「数Ⅰ，数A」から1）と「数Ⅱ，数B，数C」の2	外	英コⅠ・英コⅡ・「論・表Ⅰ」・「論・表Ⅱ」 から1									
地歴公民	「地総，地探」、「歴総，日探」、「歴総，世探」、「公共，倫理」、「公共，政経」、（「地総／歴総／公共」から2） から1	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C から1（注★）	教科・科目に係る個別テスト等	100＊		200		100＊		200	500
理	物，化，生，地学から2		［2教科2科目］									
外	英（ﾘｽﾆﾝｸﾞを含む）、独，仏，中，韓から1	その他	面接	計	300＊	100	400	300	300＊	100	200	1600
情	情Ⅰ											
	［6教科8科目］											

（注◎）学校教育課程小中一貫教育コース小学校主免専攻及び中学校主免専攻では、第２志望選抜を実施します。詳細は39ページを参照してください。

（注☆）次の①②よりいずれかを選択。

① 地歴・公民から2科目と理科から1科目（同一名称を含む科目（「公共，倫理」と「公共，政経」）の選択は不可。また、「地総／歴総／公共」を選択した場合、選択解答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む他の科目の組合せの選択は不可。）

② 地歴・公民から1科目と理科から2科目（同一名称科目（物基と物、化基と化、生基と生、地基と地学）の選択は不可。）

（注★）「数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C」及び「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C」については、試験当日、問題を見た上で選択。

後期日程

●小論文型＋面接入試

＜課程・コース及び募集人員＞　学校教育課程　小中一貫教育コース　小学校主免専攻：10人

大学入学共通テストの利用教科・科目名		教科・科目に係る個別テスト等		大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等の配点等										
教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	面接	配点合計
国	国語	その他	小論文	共通テスト	200	200	200	100	200	100			1000
数	（数Ⅰ、「数Ⅰ，数A」から1）と「数Ⅱ，数B，数C」の2		面接			100		200					
地歴公民	「地総，地探」、「歴総，日探」、「歴総，世探」、「公共，倫理」、「公共，政経」、（「地総／歴総／公共」から2） から1又は2 から3（注☆）			教科・科目に係る個別テスト等							300	300	600
理	物，化，生，地学，（物基／化基／生基／地基から2）から1又は2			計	200	200	200	100	200	100	300	300	1600
外	英（ﾘｽﾆﾝｸﾞを含む）、独，仏，中，韓から1					100		200					
情	情Ⅰ												
	［6教科8科目・7教科8科目］												

（注☆）次の①②よりいずれかを選択。

① 地歴・公民から2科目と理科から1科目（同一名称を含む科目（「公共，倫理」と「公共，政経」）の選択は不可。また、「地総／歴総／公共」を選択した場合、選択解答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む他の科目の組合せの選択は不可。）

② 地歴・公民から1科目と理科から2科目（同一名称科目（物基と物、化基と化、生基と生、地基と地学）の選択は不可。）

【注】31ページの注意事項を必ずお読みください。

注意事項（教育学部）

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

1）地歴・公民及び理科を２科目受験する場合は、解答順に「第１解答科目」及び「第２解答科目」として取り扱います。
2）地歴・公民を１科目と指定している場合において、２科目受験しているときは、受験した科目のうち第１解答科目の成績を採用します。
（理系型＋面接入試が該当）
3）地歴・公民、理科の受験科目を３科目と指定している場合において、指定科目数を超えて受験しているときは、『地歴・公民の第１解答科目』と『理科の第１解答科目』と『「地歴・公民の第２解答科目」、「理科の第２解答科目」のうち高得点の１科目』を採用します。（2/3 型＋面接入試（前期）、小論文型＋面接入試（後期）が該当）
4）「外国語」において『英語』は、リーディング、リスニングの両方を必ず受験してください（大学入試センターからリスニングを免除された者を除く）。
リーディングのみ受験した者（免除者を除く）及びリスニングのみ受験した者は英語を受験しなかった者として取り扱います。
また、リーディング、リスニングの配点はそれぞれ 160 点、40 点とします。なお、リスニングを免除された者はリーディングの得点を 200 点に換算します。
5）大学入学共通テストの成績は、全ての課程・コース（専攻）において令和９年度のものに限り利用します。

【教科・科目に係る個別テスト等】欄

「数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C」及び「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C」については、試験当日、問題を見た上で選択。

また、数学の出題範囲については以下のとおりとします。
①数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Ａは全範囲から出題します。
②数学Ｂは「数列」「統計的な推測」、数学Ｃは「ベクトル」「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。

【大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等の配点等】欄

配点に＊印を付してある教科は選択教科を示します。

※第２志望について

1）教育学部の前期日程で 2/3 型＋面接入試「学校教育課程小中一貫教育コース小学校主免専攻又は中学校主免専攻」を志願する場合、第１志望の専攻に加えて、「」内の別の専攻を第２志望とすることができます。
2）教育学部の前期日程で理系型＋面接入試「学校教育課程小中一貫教育コース小学校主免専攻又は中学校主免専攻」を志願する場合、第１志望の専攻に加えて、「」内の別の専攻を第２志望とすることができます。
3）第１志望の専攻と第２志望の専攻が同一の場合又は第２志望の専攻が未記入の場合は、第１志望の専攻でのみ合否判定します。

② 医 学 部

学科	日程及び募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名 教科	科目名等	教科・科目に係る個別テスト等 教科等	科目名等	2段階選抜	大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等の配点等 試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	面接	配点合計
医学科	前期 45人	国	国語	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C	下記注意事項参照	共通テスト	200	100	200	200	200	100			1000
		地歴公民	「地総，地探」、「歴総，日探」、「歴総，世探」、「公共，倫理」、「公共，政経」、（「地総／歴総／公共」から2） から1	理	物基・物、化基・化、生基・生 から2		教科・科目に係る個別テスト等			200	200	200			※	600
		数	「数Ⅰ，数A」と「数Ⅱ，数B，数C」の2	外	英コⅠ・英コⅡ・英コⅢ・「論・表Ⅰ」・「論・表Ⅱ」・「論・表Ⅲ」〔3教科4科目〕		計	200	100	400	400	400	100			1600
		理	物、化、生から2	その他	面接											
		外	英（ﾘｽﾆﾝｸﾞを含む）													
	後期 15人	情	情Ⅰ〔6教科8科目〕	外	英コⅠ・英コⅡ・英コⅢ・「論・表Ⅰ」・「論・表Ⅱ」・「論・表Ⅲ」〔1教科1科目〕	下記注意事項参照	共通テスト	200	100	200	200	200	100			1000
				その他	面接		教科・科目に係る個別テスト等					150			※	150
							計	200	100	200	200	350	100			1150
看護学科	前期 35人	国	国語	その他	面接		共通テスト	200	100	200	100	200	100			900
		地歴公民	「地総，地探」、「歴総，日探」、「歴総，世探」、「公共，倫理」、「公共，政経」、（「地総／歴総／公共」から2） から1				教科・科目に係る個別テスト等								300	300
		数	「数Ⅰ，数A」と「数Ⅱ，数B，数C」の2													
		理	物、化、生、（物基／化基／生基から2）から1				計	200	100	200	100	200	100		300	1200
		外	英（ﾘｽﾆﾝｸﾞを含む）													
		情	情Ⅰ〔6教科7科目〕													

【注】下記の注意事項を必ずお読みください。

注意事項（医学部）

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

1）地歴・公民及び理科を2科目受験する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」として取り扱います。

2）地歴・公民を2科目受験しているときは、「第1解答科目」の成績を採用します。

3）看護学科において、理科を2科目受験しているときは、第1解答科目の成績を採用します。

4）「外国語」において『英語』は、リーディング、リスニングの両方を必ず受験してください（大学入試センターからリスニングを免除された者を除く）。リーディングのみ受験した者（免除者を除く）及びリスニングのみ受験した者は英語を受験しなかった者として取り扱います。

また、リーディング、リスニングの配点はそれぞれ160点、40点とします。なお、リスニングを免除された者はリーディングの得点を200点に換算します。

5）大学入学共通テストの成績は、全ての学科において令和9年度のものに限り利用します。

【教科・科目に係る個別テスト等】欄

1）数学の出題範囲については以下のとおりとします。

①数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは全範囲から出題します。

②数学Bは「数列」「統計的な推測」、数学Cは「ベクトル」「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。

2）理科の出題範囲については以下のとおりとします。

①物理基礎・物理は全範囲から出題します。

②化学基礎・化学は全範囲から出題します。

③生物基礎・生物は全範囲から出題します。

3）医学部医学科において、第1段階選抜は大学入学共通テストの成績により行い、原則として前期は募集人員の約6倍までを、後期は募集人員の約14倍までを合格者とし、その合格者に対して教科・科目に係る個別テスト等を行います。

詳細については28ページを参照してください。

【大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等の配点等】欄

※面接は、合否判定の重要な資料とします。面接の評価が合格に達していない者は不合格とします。

③ 工 学 部

学科	日程及び募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		教科・科目に係る個別テスト等		大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等の配点等							
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	情報	主体性評価	配点合計
工学科	前期 200人	国	国語	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C	共通テスト	100	50	200	200	100	50		700
		地歴公民	「地総，地探」、「歴総，日探」、「歴総，世探」、「公共，倫理」、「公共，政経」、（「地総／歴総／公共」から2） から1	理	物基・物、化基・化から1									
		数	「数Ⅰ，数A」と「数Ⅱ，数B，数C」の2	外	英コⅠ・英コⅡ・「論・表Ⅰ」	教科・科目に係る個別テスト等			400（注★）		100		10	510
		理	物、化、生から2		〔3教科3科目〕									
		外	英（ﾘｽﾆﾝｸﾞを含む）、独、仏、中、韓から1			計	100	50	800		200	50	10	1210
		情	情Ⅰ											
			〔6教科8科目〕											
	後期 93人	国	国語	理	物基・物、化基・化から1	共通テスト	100		200	200	100	50		650
		数	「数Ⅰ，数A」と「数Ⅱ，数B，数C」の2		〔1教科1科目〕									
		理	物、化、生から2			教科・科目に係る個別テスト等				300			5	305
		外	英（ﾘｽﾆﾝｸﾞを含む）、独、仏、中、韓から1											
		情	情Ⅰ			計	100		200	500	100	50	5	955
			〔5教科7科目〕											

（注★）前期日程において、数学・理科は必ず両教科とも受験してください。配点は数学：200 点、理科：200 点とし、数学・理科の合計（400）点または数学のみ（400 点換算）の点数のうち高得点のものを採用します。

【注】下記の注意事項を必ずお読みください。

注意事項（工学部）

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

1）地歴・公民及び理科を2科目受験する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」として取り扱います。

2）地歴・公民を2科目受験しているときは、「第1解答科目」の成績を採用します。

3）「外国語」において『英語』は、リーディング、リスニングの両方を必ず受験してください（大学入試センターからリスニングを免除された者を除く）。
リーディングのみ受験した者（免除者を除く）及びリスニングのみ受験した者は英語を受験しなかった者として取り扱います。
また、リーディング、リスニングの配点はそれぞれ 80 点、20 点とします。なお、リスニングを免除された者はリーディングの得点を 100 点に換算します。

4）大学入学共通テストの成績は、令和9年度のものに限り利用します。

【教科・科目に係る個別テスト等】欄

1）数学の出題範囲については以下のとおりとします。
①数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは全範囲から出題します。
②数学Bは「数列」「統計的な推測」、数学Cは「ベクトル」「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。

2）理科の出題範囲については以下のとおりとします。
①物理基礎・物理は全範囲から出題します。
②化学基礎・化学は全範囲から出題します。

3）前期日程において、英語の資格・検定試験の一定以上のスコア（級）を取得している場合、教科・科目に係る個別テストにおける英語の試験を免除し、英語を満点とします。
詳細については 40 ページを参照してください。

※出願について
出願時に全6プログラム（化学生命・土木環境・半導体サイエンス・電気電子システム・機械知能・情報通信）に対して、第1志望から順に最大第6志望まで選んで出願することができます。詳細については 16 ページを参照してください。

④ 農 学 部

学科	日程及び募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名 教科	科目名等	教科・科目に係る個別テスト等 教科等	科目名等	大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等の配点等 試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	情報	主体性評価	配点合計
農学科	前期 109人	国	国語	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C	共通テスト	100	50	100	100	100	50		500
		地歴公民	「地総，地探」、「歴総，日探」、「歴総，世探」、「公共，倫理」、「公共，政経」、（「地総／歴総／公共」から2） から1	理	物基・物、化基・化、生基・生 から1	教科・科目に係る個別テスト等			200＊	200＊			10	210
		数	「数Ⅰ，数A」と「数Ⅱ，数B，数C」の2		〔1教科1科目〕	計	100	50	300＊	300＊	100	50	10	710
		理	物，化，生，地学，（物基／化基／生基／地基から2）から2（注★）											
		外	英（ﾘｽﾆﾝｸﾞを含む）											
		情	情Ⅰ											
	後期 43人		〔6教科8科目〕	理	物基・物、化基・化、生基・生 から1	共通テスト	100	50	100	100	100	50		500
					〔1教科1科目〕	教科・科目に係る個別テスト等				300			10	310
						計	100	50	100	400	100	50	10	810
獣医学科	前期 20人	国	国語	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C	共通テスト	200	100	200	200	200	100		1000
		地歴公民	「地総，地探」、「歴総，日探」、「歴総，世探」、「公共，倫理」、「公共，政経」、（「地総／歴総／公共」から2） から1	理	物基・物、化基・化、生基・生 から1	教科・科目に係る個別テスト等			200＊	200＊	200＊		5	405
		数	「数Ⅰ，数A」と「数Ⅱ，数B，数C」の2	外	英コⅠ・英コⅡ・「論・表Ⅰ」・「論・表Ⅱ」 から2	計	200	100	400＊	400＊	400＊	100	5	1405
		理	物，化，生から2		〔2教科2科目〕									
		外	英（ﾘｽﾆﾝｸﾞを含む）											
		情	情Ⅰ											
	後期 10人		〔6教科8科目〕	理	物基・物、化基・化、生基・生 から1	共通テスト	200	100	200	200	300	100		1100
					〔1教科1科目〕	教科・科目に係る個別テスト等				200			5	205
						計	200	100	200	400	300	100	5	1305

（注★）同一名称を含む出題科目（物基と物、化基と化、生基と生、地基と地学）を同時に採用することはできません。

【注】下記の注意事項を必ずお読みください。

注意事項（農学部）

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

1）地歴・公民及び理科を2科目受験する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」として取り扱います。

2）地歴・公民を2科目受験しているときは、「第1解答科目」の成績を採用します。

3）「外国語」において『英語』は、リーディング、リスニングの両方を必ず受験してください（大学入試センターからリスニングを免除された者を除く）。
リーディングのみ受験した者（免除者を除く）及びリスニングのみ受験した者は英語を受験しなかった者として取り扱います。
また、リーディング、リスニングの配点は次のとおりとします。

学科	前期日程		後期日程	
	リーディング	リスニング	リーディング	リスニング
農学科	75	25	75	25
獣医学科	140	60	200	100

なお、リスニングを免除された者はリーディングの得点を各学科・コースの配点に換算します。

4）大学入学共通テストの成績は、全ての学科において令和９年度のものに限り利用します。

【教科・科目に係る個別テスト等】欄

1）数学の出題範囲については以下のとおりとします。
①数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ａは全範囲から出題します。
②数学Ｂは「数列」「統計的な推測」、数学Ｃは「ベクトル」「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。

2）理科の出題範囲については以下のとおりとします。
①物理基礎・物理は全範囲から出題します。
②化学基礎・化学は全範囲から出題します。
③生物基礎・生物は全範囲から出題します。

【大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等の配点等】欄
配点に＊印を付してある教科は選択教科を示します。

※出願について
農学科は出願時に全4コース（動植物資源生命科学、森林環境持続性科学、海洋生命科学、応用生命化学）に対して、第1志望から最大第4志望まで選んで出願することができます。詳細については17ページを参照してください。

⑤ 地 域 資 源 創 成 学 部

学科	日程及び募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名 教科	科目名等	教科・科目に係る個別テスト等 教科等	科目名等	大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等の配点等 試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	総合問題	面接	主体性評価	配点合計
地域資源創成学科	前期 50人	国数	国語（数Ⅰ、「数Ⅰ，数A」から1）と「数Ⅱ，数B，数C」の2	その他	総合問題	共通テスト	200	200/100	200	100/200	200	50					950
		地歴公民	「地総，地探」、「歴総，日探」、「歴総，世探」、「公共，倫理」、「公共，政経」、（「地総／歴総／公共」から2）から1又は2			教科・科目に係る個別テスト等								350		10	360
		理科	物，化，生，地学，（物基／化基／生基／地基から2）から1又は2			計	200	200/100	200	100/200	200	50		350		10	1310
	後期 15人	外国	英（ﾘｽﾆﾝｸﾞを含む）、独，仏，中，韓から1	その他	小論文 面接	共通テスト	200	200/100	200	100/200	200	50					950
		情	情Ⅰ			教科・科目に係る個別テスト等							150		150		300
			〔6教科8科目・7教科8科目〕			計	200	200/100	200	100/200	200	50	150		150		1250

（注☆）次の①②よりいずれかを選択。

①地歴・公民から2科目と理科から1科目（同一名称を含む科目（「公共，倫理」と「公共，政経」）の選択は不可。また、「地総／歴総／公共」を選択した場合、選択解答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む他の科目の組合せの選択は不可。）

②地歴・公民から1科目と理科から2科目（同一名称科目（物基と物、化基と化、生基と生、地基と地学）の選択は不可。）

【注】下記の注意事項を必ずお読みください。

注意事項（地域資源創成学部）

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

1）地歴・公民及び理科を2科目受験する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」として取り扱います。

2）地歴・公民、理科の受験科目を3科目と指定している場合において、指定科目数を超えて受験しているときは、『地歴・公民の第1解答科目』と『理科の第1解答科目』と『「地歴・公民の第2解答科目」、「理科の第2解答科目」のうち高得点の1科目』を採用します。

3）「外国語」において『英語』は、リーディング、リスニングの両方を必ず受験してください（大学入試センターからリスニングを免除された者を除く）。リーディングのみ受験した者（免除者を除く）及びリスニングのみ受験した者は英語を受験しなかった者として取り扱います。また、リーディング、リスニングの配点はそれぞれ100点とします。なお、リスニングを免除された者はリーディングの得点を200点に換算します。

4）大学入学共通テストの成績は、令和9年度のものに限り利用します。

（3）小論文、総合問題、面接の採点・評価基準

学部	学科・課程等		日程	選抜方法	採　点　・　評　価　基　準
教育学部	学校教育課程	小中一貫教育コース 小学校主免専攻 中学校主免専攻 教職実践基礎コース	前期	面接	小学校教員及び中学校教員に必要な資質や能力を評価します。
		発達支援教育コース 子ども理解専攻			小学校教員及び幼稚園教員に必要な資質や能力を評価します。
		発達支援教育コース 特別支援教育専攻			特別支援学校教員に必要な資質や能力を評価します。
		小中一貫教育コース 小学校主免専攻	後期	小論文	提示された課題に対し、小論文を作成させ、論理的思考力、表現力等を総合的に評価します。
				面接	小学校教員及び中学校教員に必要な資質や能力を評価します。
医学部	医　学　科		前期・後期	面　接	受験者の医学生としての資質、意欲、適性等を評価します。
	看　護　学　科		前期		受験者の看護学生としての資質、適性、意欲等を評価します。
地域資源創成学部	地域資源創成学科		前期	総合問題	教科横断的問題で、知識・技能、思考力、表現力、判断力等について総合的に評価します。
			後期	小論文	提示された課題に対し、小論文を作成させ、論理的思考能力、判断力、記述（文章）によるコミュニケーション能力を評価します。
				面　接	地域や社会の課題解決に対する関心、意欲、協働力、口述によるコミュニケーション能力を総合的に評価します。

（４）主体性評価について

本学では、高等学校等から提出される調査書や志願者本人が記載する資料を用いて学力の３要素のうち主として「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（以下、主体性）」を評価します。

具体的には、面接を実施する選抜（教育学部、医学部及び地域資源創成学部後期日程）においては出願書類を面接の参考資料として主体性を評価します。面接を実施しない選抜（工学部、農学部及び地域資源創成学部前期日程）においては調査書等を点数化し（主体性評価）、大学入学共通テストの得点及び教科・科目に係る個別テスト等の得点と併せて合否判定します。

各学部における主体性評価の方針は次のとおりです。

①工学部

工学部では、「主体性」は学校等での日常的な学びにあると考え、調査書の「３．各教科の学習成績の状況」を利用して、前期日程では10点満点、後期日程では5点満点で評価します。

※調査書を提出できない者は、活動報告書（25ページ参照）を提出してください。

②農学部

農学科

農学科では、「主体性」は学校等での日常的な学びにあると考え、調査書の「３．各教科の学習成績の状況」を利用して、前期日程、後期日程ともに10点満点で評価します。

※調査書を提出できない者は、活動報告書（25ページ参照）を提出してください。

獣医学科

獣医学科では「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を、アドミッション・ポリシーの「１．求める学生像」のうち、「主体性」「協働性」「学問への関心」（以下、主体性等）に関連する素養であると考えています。このことを踏まえて、学科で定めた評価基準に基づき、調査書の記述から主体性等を評価し、前期日程、後期日程ともに５点満点で評価します。

※調査書を提出できない者は、活動報告書（25ページ参照）を提出してください。

③地域資源創成学部（前期日程）

前期日程では、調査書及び諸活動における自己申告書（23ページ参照）を10点満点で評価します。アドミッション・ポリシーに基づき、調査書等の記述を総合的に評価します。文章の量は関係ありません。

旧調査書を提出する既卒者や調査書を提出できない者についても同等の観点とする方針ですが、実情に合わせた措置により不利にならないよう配慮します。

また、自然災害や人為災害、感染症の全国的な感染拡大等により、長期に渡る臨時休業の実施や部活動等の諸活動が大幅に制限される場合においても、入学志願者が不利益を被ることのないよう配慮します。

（5）合否判定基準

大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト等の総合得点により順位付けを行い、合否を決定します。

ただし、① 志望する学部・学科・課程（コース・専攻等）が指定する大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト等の教科・科目等をすべて受験しなければ、合否判定の対象にはなりません。

② 医学部医学科において、面接の評価が合格に達しない者は不合格とします。

③ 総合得点が同点の場合は、次表に示す教科・科目等の優先順位により順位付けを行います。

学部	学科・課程（コース・専攻）	前期日程	後期日程
教育学部	【2/3型＋面接入試・前期】 学校教育課程 全コース・専攻	①教科・科目に係る個別テスト等の合計得点 ②大学入学共通テストの国語と外国語の合計得点	
	【理系型＋面接入試・前期】 学校教育課程 小中一貫教育コース 小学校主免専攻 中学校主免専攻	①教科・科目に係る個別テスト等の合計得点 ②大学入学共通テストの数学の合計得点	
	【小論文＋面接入試・後期】 学校教育課程 小中一貫教育コース 小学校主免専攻		①教科・科目に係る個別テスト等の合計得点 ②大学入学共通テストの国語と外国語の合計得点
医学部	医学科	①面接の評価 ②大学入学共通テストの総合得点	①面接の評価 ②大学入学共通テストの総合得点
	看護学科	①教科・科目に係る個別テスト等の面接の得点 ②調査書の評定平均値	
工学部	工学科	①大学入学共通テストの総合得点 ②大学入学共通テストの数学の合計得点 ③大学入学共通テストの国語の得点 ④大学入学共通テストの外国語の得点 ⑤大学入学共通テストの理科の合計得点	①大学入学共通テストの総合得点 ②大学入学共通テストの数学の合計得点 ③大学入学共通テストの国語の得点 ④大学入学共通テストの外国語の得点 ⑤大学入学共通テストの理科の合計得点
農学部	農学科	①大学入学共通テストの総合得点 ②大学入学共通テストの理科の合計得点 ③大学入学共通テストの数学の合計得点 ④大学入学共通テストの外国語の得点	①大学入学共通テストの総合得点 ②大学入学共通テストの理科の合計得点 ③大学入学共通テストの数学の合計得点 ④大学入学共通テストの外国語の得点
	獣医学科	①教科・科目に係る個別テストの総合得点 ②大学入学共通テストの英語の得点	①教科・科目に係る個別テストの総合得点 ②大学入学共通テストの英語の得点
創成地域学部 資源	地域資源創成学科	①教科・科目に係る個別テストの総合問題の得点 ②大学入学共通テストの総合得点 ③大学入学共通テストの外国語の得点	①教科・科目に係る個別テストの面接の得点 ②教科・科目に係る個別テストの小論文の得点

（６）第２志望等の選抜方法

①教育学部

１）前期日程の２/３型＋面接入試「学校教育課程小中一貫教育コース小学校主免専攻又は中学校主免専攻」において、募集人員の約６割（下記参照）を第１志望の志願者から総合得点順に合格者を決定します。残りは、第１志望･第２志望の志願者を併せて、総合得点順に合格者を決定します。

２）前期日程の理系型＋面接入試「学校教育課程小中一貫教育コース小学校主免専攻又は中学校主免専攻」において、募集人員の約６割（下記参照）を第１志望の志願者から総合得点順に合格者を決定します。残りは、第１志望･第２志望の志願者を併せて、総合得点順に合格者を決定します。

・２/３型＋面接入試（前期日程）

コース等	募集人員	第１志望者からの選抜人数
小中一貫教育コース 小学校主免専攻	20	12
小中一貫教育コース 中学校主免専攻	10	6

・理系型＋面接入試（前期日程）

コース等	募集人員	第１志望者からの選抜人数
小中一貫教育コース 小学校主免専攻	10	6
小中一貫教育コース 中学校主免専攻	10	6

②工学部

全受験者を大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テスト、ならびに主体性評価の総合得点順に並べ、得点上位者から受験者の志望に応じて順次、合格者を決定します。

③農学部

農学科

全受験者を大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テスト、ならびに主体性評価の総合得点順に並べ、得点上位者から受験者の志望に応じて順次、合格者を決定します。

合格判定過程で、出願時に記入した志望コース全てにおいて、既にコース仮配属（17 ページ）上限数に達していた場合は合格者とはなりません。

志望コースは第４志望まで全て記入する必要はありませんが、記入した志望コース全てでコース仮配属上限数に達していた場合は、合格最低点以上であっても志望の記入がないコースでの合格判定は行われませんので、仮配属を希望するコース名は出願時に全て記入しておいてください。記入されていないコースには入学する意思がないとみなします。

（7）教科・科目に係る個別テスト（英語）の免除について

工学部の教科・科目に係る個別テスト（前期日程）において、下表のとおり、英語の資格・検定試験の一定以上のスコア（級）を取得している場合、英語の試験を免除し、英語を満点とします。

TOEIC® Listening＆Reading Test	TOEFL		GTEC（4技能）※2	実用英語技能検定（英検）※3
	Junior®	iBT® ※1		
500	730	38	970	2級

※1　「TOEFL iBT® Home Edition」も対象とします。
※2　GTEC（4技能）の成績は、オフィシャルスコアのみを認めます。
※3　「英検S－CBT」も対象とします。

英語の試験の免除を希望する者は、該当する検定試験の成績証明書等（原本。写し不可）を1通用意して、他の提出書類と一緒に同封して出願してください。（外国語検定試験の成績証明書等を出願受付後に提出することはできません。）

希望申請を行った場合でも、成績証明書等が出願期間内に本学に到着しなかった場合については、免除を認めず、免除の希望申請がなかったものとして取り扱います。必ず出願期間内に大学に到着するようにしてください。

また、免除の許可（不許可）通知書については、令和9年2月17日（水）までに郵送します。

なお、「外国語検定試験の成績証明書等（原本）」を提出する者で返却を希望する者は、790円分の切手を貼った「返信用封筒（角形2号）」に郵便番号、住所、氏名を記載し、他の出願書類と一緒に必ず同封してください。

外国語検定試験	提出書類（成績証明書等）
TOEIC® Listening＆Reading Test	「TOEIC Official Score Certificate」 令和7年1月以降に受験した試験の公式認定証またはデジタル公式認定証を印刷したもの
TOEFL Junior®	「TOEFL Official Score Report」 令和7年1月以降に受験した試験のスコアレポート
TOEFL iBT®	「TOEFL Test Taker Score Report」 令和7年1月以降に受験した試験のスコアレポート
GTEC（4技能）	「GTEC OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」（4技能） 令和7年1月以降に受験した試験のスコア証明書
実用英語技能検定（英検）	「実用英語技能検定　合格証明書」 ※試験日についての制限はありません。 ※「実用英語技能検定　個人成績表」の提出は認めません。 ※デジタル証明書を印刷したものは不可

10　試験日程及び試験場

（1）試験日程

〔前期日程〕

試験期日	学部	学科・課程等	試験時間及び教科等
2月25日（木）	教育学部	学校教育課程 全コース・専攻 【2/3型＋面接入試】 【理系型＋面接入試】	英　語 9:00～10:30 数　学 12:00～13:30 国　語 14:30～16:00
	医学部	医学科	英　語 9:00～10:30 数　学 11:30～13:30 理　科 15:00～17:00
		看護学科	面　接　9:00～ ※面接については受験案内で時間を指定します。
	工学部	工学科	英　語 9:30～10:30 数　学 11:30～13:30 理　科 15:30～17:00
	農学部	農学科	数　学 12:00～13:30 理　科 15:30～17:00
		獣医学科	英　語 9:00～10:30 数　学 12:00～13:30 理　科 15:30～17:00
	地域資源創成学部	地域資源創成学科	総合問題 9:00～11:00
2月26日（金）	教育学部	学校教育課程 全コース・専攻 【2/3型＋面接入試】 【理系型＋面接入試】	面　接　9:00～ ※面接については受験案内で集合時間と終了目安時間をお伝えします。
	医学部	医学科	面　接　9:00～ ※面接については受験案内で集合時間と終了目安時間をお伝えします。

（備考）1．面接を除いて受付はありません。**受験する教科等の試験開始20分前までに試験室に入室してください。**

2．試験室への入室開始時刻を定めていますので、「（3）試験室入室開始時刻」（43ページ）を参照してください。

3．**受験案内は、受験票ダウンロード時に併せてWeb出願システムへ掲載しますので、そちらを必ず確認してください。**

〔後期日程〕

※後期日程では、**理科の試験時間は選択した科目（化学・物理・生物）によって異なります**ので注意してください。
試験当日は登録した科目以外は受験できません。

試験期日	学部	学科・課程等	試験時間及び教科等
3月12日（金）	教育学部	学校教育課程 小中一貫教育コース 小学校主免専攻 【小論文型＋面接入試】	小論文 9:00～10:40 面　接　12:00～
	医学部	医学科	英　語 9:00～10:30 面　接　12:00～
	工学部	工学科	化学 9:00～10:30 物理 12:10～13:40
	農学部	全学科	化学 9:00～10:30 物理 12:10～13:40 生物 14:50～16:20
	地域資源創成学部	地域資源創成学科	小論文 9:00～10:30 面　接　12:00～

（備考）１．面接を除いて受付はありません。**受験する教科等の試験開始30分前までに試験室に入室してください。**

２．試験室への入室開始時刻を定めていますので、「（３）試験室入室開始時刻」（43ページ）を参照してください。

３．**受験案内は、受験票ダウンロード時に併せてWeb出願システムへ掲載しますので、そちらを必ず確認してください。**

（２）試験場

志望学部	試　験　場		電　話
教育学部	宮崎大学教育学部	宮崎市学園木花台西１丁目１番地 （木花キャンパス）	宮崎大学入試課 0985-58-7138
工学部	宮崎大学工学部		
農学部	宮崎大学農学部		
地域資源創成学部	宮崎大学 地域資源創成学部		
農学部	横浜試験場（※１）	横浜市西区北幸２－１１－６ （河合塾横浜校）	
医学部	宮崎大学医学部	宮崎市清武町木原5200番地 （清武キャンパス）	

※１ 農学部の横浜試験場（河合塾横浜校）での受験については46ページを参照してください。
なお、横浜試験場で受験できるのは前期日程のみです。

（備　考）１．教育学部、工学部、農学部及び地域資源創成学部では、志願者数によっては他学部等の試験場を利用する場合があります。
２．試験場までの交通機関等については、下見等であらかじめ熟知しておいてください。

（３）試験室入室開始時刻

〔前期日程〕

試験期日	学部・学科	教科等	入室開始時刻
2月25日（木）	教育学部	英語	８：00
		数学	11：00
	医学部 医学科	英語	８：00
	医学部 看護学科	面接	「受験案内」で確認してください。
	工学部	英語	８：30
		数学	10：50
	農学部	英語	８：00
		数学	11：00
		理科	14：30
	地域資源創成学部	総合問題	８：00
2月26日（金）	教育学部	面接	「受験案内」で確認してください。
	医学部医学科		

（備考）１．上記の時刻から試験室へ入室することができます。それまでは入室できません。

２．試験開始20分前までに試験室に入室してください。

３．工学部の英語免除者（外国語検定試験利用者）については、数学から受験してください。

〔後期日程〕

試験期日	学部・学科	教科等	入室開始時刻
3月12日（金）	教育学部	小論文	７：50
	医学部 医学科	英語	７：50
	工学部	化学	７：50
		物理	11：20
	農学部	化学	７：50
		物理	11：10
		生物	13：50
	地域資源創成学部	小論文	７：50

（備考）１．上記の時刻から試験室へ入室することができます。それまでは入室できません。

２．試験開始30分前までに試験室に入室してください。

11. 受験上の注意事項

（１）試験前日までの注意事項

① 試験室等については、前期日程及び後期日程の試験日前日の午後に各試験場の掲示板にて確認してください。ただし、建物に立ち入ることはできません。

② 重要なお知らせ等がある場合は、以下の本学ホームページにてお知らせしますので、各自で確認してください。

ＵＲＬ：https://www.miyazaki-u.ac.jp/

③ 天候や交通機関の運行状況等を確認のうえ、代替の移動手段（航空機が欠航した場合に鉄道で移動する等）を確認しておく等、遅刻することのないよう、万全の準備を行ってください。

（２）試験当日の注意事項

① **「宮崎大学入学試験受験票」、「大学入学共通テスト受験票」及び「身分証明書（生徒証・学生証・マイナンバーカード・パスポート・運転免許証・在留カード等（氏名及び生年月日の記載があり、顔写真付きで、試験日において有効なもの。））」**を必ず持参してください。

② 受験する科目等の試験開始前まで（前期：20 分前、後期：30 分前）に試験室に入室してください。ただし、入室開始時刻を定めていますので、「10（３）試験室入室開始時刻」（43 ページ）において確認してください。

③ 試験開始後 30 分以内の遅刻に限り、受験を認めます。

なお、面接については、各学部において指定された受付終了時間を 20 分以上遅刻した者は、受験を認めません。

④ 試験室では、受験番号と同じ番号の机に着席（本学が別途指定する場合を除く。）し、「宮崎大学入学試験受験票」及び「大学入学共通テスト受験票」を机上の見やすいところに置いてください。

⑤ 机の上には、受験票、黒鉛筆、鉛筆キャップ、シャープペンシル、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り（電動式、大型のもの及びナイフ類を除く。）、直線定規（分度器機能付及び三角定規は不可。線引用のもののみ可。）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるもの（それらの機能の有無が判別しづらいものを含む。）、秒針音のするもの、キッチンタイマーや学習タイマー及び大型のものを除く。）、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）以外の所持品を置いてはいけません。

⑥ 出願後の不慮の事故等により、試験時間中、机の上に置けるもの以外のものを使用したい場合は、障がい等のある入学志願者の事前相談（20 ページ）に記載の③の相談先へ連絡してください。

⑦ 試験室内でコート類を着用しても差し支えありません。ただし、英文字、地図等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうことがあります。

⑧ 試験中に座布団、ひざ掛け、使い捨てカイロ、手袋の使用を希望する者は、監督者に申し出て許可を得てから使用してください。ただし、この場合も英文字、地図等がプリントされているものは使用できません。

⑨ 試験室では監督者の指示に従ってください。指示に従わない場合は、不正行為となることがあります。また、試験時間中に用があるときは手を挙げてください。

⑩ 試験室に入室してから試験終了まで退室は認めません。

体調不良、トイレ等により、やむを得ず退室を希望する場合は手を挙げて監督者の指示に従ってください。ただし、試験時間の延長は行いません。

⑪ 試験中は、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用してはいけません。また、これらの電子機器類は電源を切り、かばん等に入れ、身に付けないでください。かばん等の中にしまっていなければ、電源が切られていても使用しているものとし、不正行為となります。なお、イヤホンについては耳に装着していれば使用しているものとして不正行為となります。（出願後の不慮の事故等により、試験時間中、補聴器等を使用したい場合は、障がい等のある入学志願者の事前相談（20 ページ）に記載の③相談先へ連絡してください。）

⑫　試験中に使用してはいけない電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。
⑬　耳栓は、監督者の指示等が聞き取れないことがありますので使用できません。

（3）チャットボットについて

本学ホームページ（https://www.miyazaki-u.ac.jp/）のトップ画面に「もうくんチャットボット」が表示されます。「受験生向け Q&A」には過去の受験生からの質問に対する回答を掲載していますので、ご確認ください。

12. 不正行為について

不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなり、受験した全ての試験の成績を無効とします。また、試験時以降に不正行為が判明した場合、合格や入学許可を取り消します。なお、不正行為については、状況により追加的な書類の提出、別室での聴取、所持品検査、警察への被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

（1） 次のことをすると不正行為となります。

① 志願票、受験票・写真票、解答用紙へ故意に虚偽の登録や記入（出願登録時に本人以外の写真あるいは加工した写真を貼ることや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。）をすること。
② カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
③ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
④ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
⑤ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
⑥ 解答開始の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
⑦ 試験時間中に、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
⑧ 試験時間中に、電子機器類（携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等）を使用すること。イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとし、不正行為とする。
⑨ 試験終了の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

（2） 上記（1）以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。

① 試験時間中に、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や通信機能のある電子機器類（携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等。）をかばん等にしまわず、身に着けていたり手に持っていること（衣類のポケット等に入れていた場合も、使用しているものとし、不正行為となる。）。
② 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
③ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
④ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
⑤ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
⑥ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

（注）出願後の不慮の事故等により、試験時間中、補聴器等を使用したい場合は、障がい等のある入学志願者の事前相談（20 ページ）に記載の③相談先へ連絡してください。

13. 一般選抜(前・後期日程)の入学試験問題について

本学のアドミッション・ポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学「提供大学」の入試過去問題を使用して出題することがあります。必ず使用するとは限りません。使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。また、使用した過去問題については、入学試験終了後、公表します。

「入試過去問題活用宣言」の詳細及び参加大学の一覧等については、下記の URL にて公表しています。

ＵＲＬ： https://www.nyushikakomon.jp/

14. 教科・科目に係る個別テスト会場(農学部)について

教科・科目に係る個別テスト前期日程において、農学部では、教科・科目に係る個別テストの試験場を宮崎大学のほかに横浜地区にも設置します。

農学部に出願する者は、Web 出願時に受験の希望地を選択してください。横浜試験場の希望者が収容人員（約 200 人）を超えた場合、その超過した者は、宮崎大学試験場で受験することとなります。

なお、希望の試験場については、出願受付後は原則として変更できません。

また、異なる試験場での受験はできませんので、十分注意してください。

（1）試験場

学部	学科	試験場
農学部	農学科	宮崎大学試験場及び横浜試験場
	獣医学科	

（2）試験場所在地

・宮崎大学試験場：宮崎大学（宮崎市学園木花台西１丁目１番地）
※試験場配置は、59 ページ参照

・横浜試験場：河合塾横浜校（横浜市西区北幸２丁目１１―６）



（3）注意事項

・横浜試験場の収容数には限りがあるので、希望者の優先順位は出願書類を受理した順番とします。どの試験場に決定したかについては、受験票に記載しますので自分の希望した試験場の変更の有無について確認してください。また、横浜試験場での受験許可者には別途案内をいたします。
・横浜試験場への照会・連絡は一切しないでください。
・横浜試験場の前日の下見は、建物外観以外できません。
・その他の注意事項は、一般選抜学生募集要項と試験場決定の通知を熟読してください。

15. 合格者発表

（１）前期日程及び後期日程

① 発表日時及び発表方法

試験日程	発　表　日　時	発　　表　　方　　法
前 期 日 程	３月７日(日)午前10時頃	本学ホームページ(https://www.miyazaki-u.ac.jp/)に合格者の受験番号を掲載します。 ※報道機関等に氏名公表は行いません。
後 期 日 程	３月20日(土)午前10時頃	

② 合格通知

合格者は、本学から本人宛に送付するメールに記載のWeb入学手続きシステムから「合格通知書」がダウンロードできるようになります。メールは、Web出願時のメールアドレスに送付します。
なお、本学から合格者へ紙の合格通知書は送付しません。
また、電話等による合否に関する問い合わせには一切応じません。

③ 合格者には、Web出願時のメールアドレスに入学手続に関する案内を送信します。

④ 試験当日の合否電報受付等は、大学とは一切関係ありませんので注意してください。

16. 追加合格

入学手続者が入学定員に満たない場合は、追加合格者の決定を行うことがあります。

追加合格者の発表は、令和9年3月28日(日)～3月31日(水)に電話により直接本人に連絡しますので、本学からの連絡が確実に受けられるよう待機しておいてください。本人との連絡をとることができなかった場合は、追加合格の意思がないものとして取り扱います。

入学手続については、「20. 入学手続等」（51ページ）を参照してください。

ア）前期又は後期日程のそれぞれの合格者が入学手続を行わなかった場合は、前期又は後期日程のそれぞれの追加合格者の対象とはなりません。

イ）教育学部の前期又は後期日程のそれぞれにおいて、第２志望で合格した場合は、第１志望の追加合格者の対象とはなりません。

ウ）工学部の追加合格は、出願時の第１志望又は第２志望のプログラムを対象にします。
なお、前期日程又は後期日程のそれぞれにおいて第２志望から第６志望で合格した場合は、第１志望又は第２志望の追加合格者の対象とはなりません。

エ）農学部農学科において第２志望から第４志望で合格した場合は、追加合格者の対象とはなりません。

17. 欠員補充第2次募集

合格者発表、追加合格者発表を行ってもなお、入学定員に満たない場合は、欠員補充第２次募集を行うことがあります。

この場合、詳細については本学ホームページ(https://www.miyazaki-u.ac.jp/)にて公表します。

18. 出願状況

出願状況を本学ホームページ（https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/figures/）に令和９年１月28日（木）から掲載します。

19. 大学入学共通テスト受験教科・科目の確認

出願にあたっては、志望する学部の学科・課程（コース・専攻等）で指定された大学入学共通テスト受験教科・科目等（本要項 29～35 ページ参照）を受験しているか、必ず以下の「確認欄」で確認してください。志望する学科・課程（コース・専攻）の確認欄すべてに○が付いた場合のみ、Web 出願の出願資格内にある大学入学共通テスト受験教科・科目の確認で「はい」を選択してください。
※英語のリスニングを免除された者は、リーディングを受験していれば確認欄に○を付けてください。

教育学部

○学校教育課程

・小中一貫教育コース小学校主免専攻（２/３型＋面接入試【前期】、小論文型＋面接入試【後期】）
・小中一貫教育コース中学校主免専攻（２/３型＋面接入試【前期】）
・教職実践基礎コース（２/3 型＋面接入試【前期】）
・発達支援教育コース子ども理解専攻、特別支援教育専攻（２/3 型＋面接入試【前期】）

受験教科・科目	確認欄
国語を受験しました	
数学（数Ⅰ、「数Ⅰ，数A」）から１科目受験しました	
数学「数Ⅱ，数B，数C」を受験しました	
地歴公民　「地総，地探」、「歴総，日探」、「歴総，世探」、「公共，倫理」、「公共，政経」、（「地総／歴総／公共」から２）から１又は２科目　理科（物、化、生、地学、（物基／化基／生基／地基から２科目））から１又は２科目　から３科目受験しました	
外国語（英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓）から１科目受験しました	
情報　情報Ⅰを受験しました	

○学校教育課程

・小中一貫教育コース小学校主免専攻、中学校主免専攻（理系型＋面接入試【前期】）

受験教科・科目	確認欄
国語を受験しました	
数学（数Ⅰ、「数Ⅰ，数A」）から１科目受験しました	
数学（「数Ⅱ，数B，数C」）を受験しました	
地歴公民　「地総，地探」、「歴総，日探」、「歴総，世探」、「公共，倫理」、「公共，政経」、（「地総／歴総／公共」から２）から１科目受験しました	
理科（物、化、生、地学）から２科目受験しました	
外国語（英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓）から１科目受験しました	
情報　情報Ⅰを受験しました	

注）各コース・専攻の受験教科・科目については30及び31ページの注意事項をご確認ください。

医学部

○医学科【前期・後期】

受験教科・科目	確認欄
国語を受験しました	
地歴公民　「地総，地探」、「歴総，日探」、「歴総，世探」、「公共，倫理」、「公共，政経」、（「地総／歴総／公共」から２）　から１科目受験しました	
数学「数Ⅰ，数A」を受験しました	
数学「数Ⅱ，数B，数C」を受験しました	
理科（物、化、生）から２科目受験しました	
英語（リスニングを含む）を受験しました	
情報　情報Ⅰを受験しました	

○看護学科【前期】

受験教科・科目	確認欄
国語を受験しました	
地歴公民　「地総，地探」、「歴総，日探」、「歴総，世探」、「公共，倫理」、「公共，政経」、（「地総／歴総／公共」から２）　から１科目受験しました	
数学「数Ⅰ，数A」を受験しました	
数学「数Ⅱ，数B，数C」を受験しました	
理科（物、化、生、（物基／化基／生基から２科目））から１科目受験しました	
英語（リスニングを含む）を受験しました	
情報　情報Ⅰを受験しました	

注）各学科の受験教科・科目については32ページの注意事項をご確認ください。

工学部

○工学科【前期】

受験教科・科目	確認欄
国語を受験しました	
地歴公民　「地総，地探」、「歴総，日探」、「歴総，世探」、「公共，倫理」、「公共，政経」、（「地総／歴総／公共」から２）　から１科目受験しました	
数学「数Ⅰ，数A」を受験しました	
数学「数Ⅱ，数B，数C」を受験しました	
理科（物、化、生）から２科目受験しました	
外国語（英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓）から１科目受験しました	
情報　情報Ⅰを受験しました	

○工学科【後期】

受験教科・科目	確認欄
国語を受験しました	
数学「数Ⅰ，数A」を受験しました	
数学「数Ⅱ，数B，数C」を受験しました	
理科（物、化、生）から２科目受験しました	
外国語（英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓）から１科目受験しました	
情報　情報Ⅰを受験しました	

注）工学科の各日程の受験教科・科目については33ページの注意事項をご確認ください。

農学部

○農学科【前期・後期】

受験教科・科目	確認欄
国語を受験しました	
地歴公民　「地総，地探」、「歴総，日探」、「歴総，世探」、「公共，倫理」、「公共，政経」、（「地総／歴総／公共」から２）　から１科目受験しました	
数学「数Ⅰ，数Ａ」を受験しました	
数学「数Ⅱ，数Ｂ，数C」を受験しました	
理科（物、化、生、地学、（物基／化基／生基／地基から２科目））から２科目受験しました	
英語（リスニングを含む）を受験しました	
情報　情報Ⅰを受験しました	

○獣医学科【前期・後期】

受験教科・科目	確認欄
国語を受験しました	
地歴公民　「地総，地探」、「歴総，日探」、「歴総，世探」、「公共，倫理」、「公共，政経」、（「地総／歴総／公共」から２）　から１科目受験しました	
数学「数Ⅰ，数Ａ」を受験しました	
数学「数Ⅱ，数Ｂ，数C」を受験しました	
理科（物、化、生）から２科目受験しました	
英語（リスニングを含む）を受験しました	
情報　情報Ⅰを受験しました	

注）各学科の受験教科・科目については34ページの注意事項をご確認ください。

地域資源創成学部

○地域資源創成学科【前期・後期】

受験教科・科目	確認欄
国語を受験しました	
数学（数Ⅰ、「数Ⅰ，数Ａ」）から１科目受験しました	
数学「数Ⅱ，数Ｂ，数C」を受験しました	
地歴公民　「地総，地探」、「歴総，日探」、「歴総，世探」、「公共，倫理」、「公共，政経」、（「地総／歴総／公共」から２）　から１又は２科目 理科（物、化、生、地学、（物基／化基／生基／地基から２科目））から１又は２科目　から３科目受験しました	
外国語（英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓）から１科目受験しました	
情報　情報Ⅰを受験しました	

注）地域資源創成学科の受験教科・科目については35ページの注意事項をご確認ください。

20. 入 学 手 続 等

（1）入学手続期間

試験日程	手　　続　　期　　間
前期日程	**令和9年3月15日(月)17時まで**
後期日程	**令和9年3月27日(土)17時まで**

（注1）入学手続期間内に入学手続を完了しない者は、入学を辞退したものとして取り扱います。

（2）入学手続方法

合格者には、出願時のメールアドレスに入学手続に関する案内を送信しますので、入学手続期間内にWeb入学手続システムにログインし、所定の手続きを完了してください。また、大学入試センターが発行する「国公立大学入学確認票」を入学手続期間内にWeb入学手続システムへアップロードしてください。

（3）納　入　金

① 入学料　282,000円

（注１）入学料に改定があった場合は、改定後の入学料を納入していただくことになります。

（注２）既納の入学料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還できません。

①　入学料を払い込んだが、入学手続をしなかった場合

②　入学料を誤って二重に払い込んだ場合

※返還にかかる手数料は、原則、納入者負担とします。

② 授業料　前期分　267,900円　後期分　267,900円　年額　535,800円

（注１）授業料は、新学期開始後にお支払いいただくことになります。

（注２）授業料の納入は、原則として、預金口座からの「口座振替」とします。

授業料に関する事項はホームページ

（https://www.miyazaki-u.ac.jp/manabi-jim/campus-life-info/school-and-admissionfee/）

にてご確認ください。

（注３）授業料に改定があった場合は、改定後の授業料を納入していただくことになります。

（注４）在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

（4）追加合格者の入学手続

追加合格者の入学手続は、原則として令和9年３月28日（日）から３月31日（水）の９時から17時までとします。

なお、３月末に合格通知を受けた者の入学手続期限については別途通知します。

〔留意点〕

（1）前期日程試験に合格し、入学手続を行った者は、後期日程試験を受験してもその合格者となりません。

（2）一つの国公立大学・学部に入学手続を行った者は、これを取り消して他の国公立大学・学部に入学手続を行うことはできません。

（3）入学手続において不正な行為があった場合、入学を取り消すことがあります。

（５）高等教育の修学支援新制度

令和２年度から新設された制度で、以下の２つの支援からなります。

・日本学生支援機構の給付奨学金（原則返還不要）

・入学料、授業料の免除又は減額

対象：住民税非課税世帯、準ずる世帯の学生（留学生や大学院生は対象外）、多子世帯（扶養する子供が３人以上の世帯）

※申込資格や選考基準（収入や成績の基準）は以下のサイトを確認ください。

日本学生支援機構（給付奨学金：申込資格や選考基準）

https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/kyufu

（６）入学料免除

次のいずれかに該当する特別な事情により、納入が著しく困難であると認められる者は、本人の申請に基づき選考のうえ、入学料の全額又は一部を免除することがあります。

①　令和９年度日本学生支援機構の給付奨学生採用候補者　※第Ⅳ区分（私立理工農）除く

②　令和９年度日本学生支援機構の給付奨学金申込み予定者

③　入学前１年以内において本人若しくは本人の学資を主として負担している者が大規模災害に被災した場合

※②については、日本学生支援機構給付奨学生の申込資格・選考基準を全て満たしている者に限る。（５）に掲載の日本学生支援機構サイトでご確認ください。

※③の対象となる災害については、令和９年２月中旬頃に本学学生支援関係ホームページ上で通知予定。

（７）入学料徴収猶予

次のいずれかに該当する場合は、本人の申請に基づき選考のうえ、入学料の徴収を猶予することができます。

①　令和９年度日本学生支援機構の給付奨学生採用候補者　※第Ⅳ区分（私立理工農）除く

②　令和９年度日本学生支援機構の給付奨学金申込み予定者

③　経済的理由により入学料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合

④　入学前１年以内において本人の学資を主として負担している者が死亡した場合

⑤　入学前１年以内において本人若しくは本人の学資を主として負担している者が風水害等の災害を受けた場合

⑥　上記④⑤に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

※②については、日本学生支援機構給付奨学生の申込資格・選考基準を全て満たしている者に限る。（５）に掲載の日本学生支援機構サイトでご確認ください。

※⑤の対象となる災害については、令和９年２月中旬頃に本学学生支援関係ホームページ上で通知予定。

（８）授業料免除

次のいずれかに該当し、授業料の納入が著しく困難であると認められる者は、本人の申請に基づき選考のうえ、授業料の全額又は一部を免除することがあります。

①　令和９年度日本学生支援機構の給付奨学生採用候補者　※第Ⅳ区分（私立理工農）除く

②　令和９年度日本学生支援機構の給付奨学金申込み予定者

③　本人若しくは本人の学資を主として負担している者が大規模災害に被災した場合

※②については、日本学生支援機構給付奨学生の申込資格・選考基準を全て満たしている者に限る。（５）に掲載の日本学生支援機構サイトでご確認ください。

※③の対象となる災害については、令和９年２月中旬頃に本学学生支援関係ホームページ上で通知予定。

高等教育修学支援体制、入学料免除・徴収猶予、授業料免除に関する問い合わせ先
宮崎大学学び・学生支援機構学生支援課
電話：0985-58-7976（土曜日・日曜日及び祝日を除く）
宮崎大学学び・学生支援機構ＨＰ　※最新情報は以下のサイトをご参照ください。
https://www.miyazaki-u.ac.jp/manabi-jim/news/attention/campus-life-info/2024/10/20254-3.html

（9）奨学金

独立行政法人日本学生支援機構をはじめ都道府県・市町村・各種団体等による奨学金があります。これらはいずれも、人物、学業成績が優秀であり、経済的理由により学資支弁が困難な者を対象に本人の申請に基づき選考のうえ貸与又は給付されます。

また、修学意欲の向上及び学修研究活動の活発化を促し優秀な人材の輩出を図ることを目的とし、学業成績の優秀な学生のますますの活躍を応援するため、本学独自の「夢と希望の道標」奨学金給付制度があります。

奨学金に関する問い合わせ先
宮崎大学学び・学生支援機構学生支援課
電話：0985-58-7140（土曜日・日曜日及び祝日を除く）
宮崎大学学び・学生支援機構ＨＰ　※最新情報は以下のサイトをご参照ください
https://www.miyazaki-u.ac.jp/manabi-jim/campus-life-info/scholarship/

（10）教育用ノート型パソコンの購入・必携について

国際社会におけるネットワーク化が進む中、「高度情報化時代に対応できる情報処理能力と倫理観を持った人材の育成」が必要となっています。

宮崎大学では、１年次の教養教育開始時からコンピュータを使った文書作成、データを図表化する方法等の習得、ネットワークを利用して情報を受信・発信する能力の習得等、情報関連の教育を実施しています。また、専門教育に関しても、講義・実験のレポート作成や予習、復習のため、インターネットからの情報収集等が必要不可欠であります。

以上のことから、宮崎大学の教育方針をご理解いただくとともに、**学生の皆さんには入学時に各個人でノート型パソコンをご準備していただくようお願いいたします。**

追って、宮崎大学で最低限必要とするパソコンの性能等については、入学手続時に再度ご案内いたします。

（11）錦本町ひなたキャンパスについて

本学では令和７年４月より地域の中核大学として教育・研究の更なる充実と、本学が有する多様な"知"の社会への還元・発信を実現するための「まちなか」でのフィールドの必要性について様々な検討を進め、新たに錦本町ひなたキャンパスとして宮崎市錦本町（にしきほんまち）に新たな拠点を設けました。

本学のメインキャンパスは木花キャンパスと清武キャンパスですが、カリキュラムによっては、授業科目の一部を錦本町ひなたキャンパスで開講する予定です。受講時間割によっては、メインキャンパスからの移動を伴う場合があります。

詳細については、大学ホームページ等でご案内いたします。

（12）在学中の保険制度について

本学では、学生が安心して教育研究活動ができるように、学生教育研究災害傷害保険（略称「学研災」）及び学研災付帯賠償責任保険（略称「学研賠」、「医学賠」）を取り扱っています。

「学研災」は、正課中、学校行事中、課外活動中及び学校施設内にいる間、並びに通学中に生じた急激かつ偶然な外来の事故により、加入者が身体に傷害を被った場合に災害補償する制度であり、全員加入することをお願いしています。（但し、学部によっては別途指示がある場合があります。）また、「学研賠」、「医学賠」は、加入者が教育研究活動中に他人にケガを負わせた場合や、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する制度です。

これらの保険制度についての詳細と加入手続きについては、Web入学手続システム内でご案内します。

在学中の保険制度に関する問い合わせ先
宮崎大学学び・学生支援機構学生支援課
電話：0985-58-7882（土曜日・日曜日及び祝日を除く）
宮崎大学学び・学生支援機構ＨＰ　※最新情報は以下のサイトをご参照ください
https://www.miyazaki-u.ac.jp/manabi-jim/campus-life-info/campus-life/student-insurance/r.html

（13）学生寄宿舎への入居

学生寄宿舎への入居を希望する者（外国人留学生は除く）は、本学学生支援関係ホームページ「学生寮（学生寄宿舎）」にて要項及び申請書類をダウンロードし、申請書類を提出期限までに提出してください。

学生寮ＨＰ：https://www.miyazaki-u.ac.jp/manabi-jim/campus-life-info/dormitory/

学生寄宿舎の概要

寄宿舎名	男子寄宿舎	女子寄宿舎	国際交流宿舎
収容定員	100人	100人	165人
募集人員	８人	８人	９人
入居資格	学部男子学生	学部女子学生	学部学生（男・女）
入居許可期間	１年間（令和９年４月～令和10年３月） ※４年間を保証するものではありません。		
寄宿料	月額7,000円		月額4,700円
構造	鉄筋コンクリート５階建		鉄骨鉄筋コンクリート８階建
居室定員	１人（個室）		
居室面積	９㎡	９㎡	11㎡
共用施設	補食室（自炊可能）、浴室、洗濯室、トイレ（国際交流宿舎は居室に設置）		
諸経費	光熱水費等　月額　7,000円程度		光熱水費等　月額　8,800円
所在地	〒889-2155　宮崎市学園木花台西１丁目１番地		

注１）国際交流宿舎の日本人学生の募集人員については、外国人留学生の受入状況により、変動が生じる場合があります。
注２）在学中に寄宿料の改定が行われた場合は、改定時から新寄宿料が適用されます。
注３）建物及び周辺に喫煙場所はありません。

学生寄宿舎に関する問い合わせ先
宮崎大学学び・学生支援機構学生支援課　電話：0985-58-7142（土曜日・日曜日及び祝日を除く）

21. 個人情報の取扱いについて

（１）個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人宮崎大学個人情報保護規則」に基づいて取り扱います。
（２）出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格者発表、③入学手続業務を行うために利用します。
（３）入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。
（４）上記（２）及び（３）の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より該当業務の委託を受けた業者において行うことがあります。
（５）国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、大学入学共通テストの受験番号、合否及び入学手続等に関する個人情報に限って、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に通知されます。
（６）出願に当たってお知らせいただいた個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、入学料免除、授業料免除、奨学金申請等）、③授業料等徴収に関する業務を行うために利用します。

22. 入学試験成績の情報開示(一般選抜)

本学では、入学試験の結果について、募集単位（学科、課程、コース等）毎に入学試験実施状況をホームページ等に掲載し公表していますが、試験成績（得点・評価・順位）の個人情報については、受験者本人からの請求に基づいて下記の要領で開示します。

なお、教育学部前期日程、工学部前期日程・後期日程及び農学部前期日程・後期日程における第２志望等についての情報開示は行いません。

記

１．開示請求者

本学が実施した令和９年度入学試験を受験した者

２．開示請求の方法

Web 出願サイト上で、出願登録時に「個人成績開示請求」の欄を「希望する」と選択してください。

※個人成績開示請求は出願手続の際に行う必要があります。

３．開示請求期間

令和９年１月 22 日（金）から２月３日（水）

４．開示情報の内容

【得点】大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト等の個々の得点並びに総合得点を開示します。（大学入学共通テストの得点は、合否判定の基礎となった科目のみ開示）

【順位】総合得点による順位を開示します。

※医学部医学科は総合得点による順位の開示はせず、総合得点によるランクを開示します。

５．開示期間

令和９年５月 12 日（水）から６月 11 日（金）

６．開示の方法

入試情報開示をオンライン上で実施します。

開示期間中は Web 出願システムにログインの上、個人成績を確認できます。詳細は令和９年４月下旬頃下記に掲載します。

個人成績開示案内ＵＲＬ：https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/admission/disclosure.html

７．開示請求手数料

１選抜ごとに 800 円を徴収します。入学検定料の支払い時に併せてお支払いください。

８．その他の注意事項

（１）開示期間を過ぎての開示請求は原則受け付けません。

（２）郵送、電話、メール及び本学入試課の窓口での開示請求については受け付けません。

（３）既納の開示請求手数料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

ア 入学検定料を払い込んだが出願しなかった場合に、入学検定料の返還請求と同時に返還請求をした場合

イ 入学検定料と開示請求手数料を誤って二重に払い込んだ場合に、入学検定料の返還請求と同時に返還請求をした場合

入学試験情報の開示に関する問い合わせ

宮崎大学 学び･学生支援機構 入試課

電話:0985-58-7138

23. 統計資料

令和８年度宮崎大学入学試験実施状況

【前期日程】

学部	学科等	募集人員	志願者		受験者			合格者			入学者		
			総数	倍率	総数	(女子)	(現役)	総数	(女子)	(現役)	総数	(女子)	(現役)
教育学部 学校教育課程	小中一貫教育コース 小学校主免専攻(2/3型)	20	70	3.5	47	(24)	(46)	24	(14)	(22)	23	(14)	(21)
	小中一貫教育コース 小学校主免専攻(理系型)	10	29	2.9	24	(7)	(24)	11	(3)	(11)	11	(3)	(11)
	小中一貫教育コース 中学校主免専攻(2/3型)	10	46	4.6	40	(25)	(37)	13	(9)	(12)	13	(9)	(12)
	小中一貫教育コース 中学校主免専攻(理系型)	10	22	2.2	19	(4)	(17)	12	(2)	(10)	12	(2)	(10)
	教職実践基礎コース	8	16	2.0	14	(3)	(13)	9	(3)	(9)	9	(3)	(9)
	発達支援教育コース 子ども理解専攻	7	55	7.9	47	(37)	(46)	8	(8)	(8)	8	(8)	(8)
	発達支援教育コース 特別支援教育専攻	7	13	1.9	11	(8)	(11)	8	(7)	(8)	8	(7)	(8)
	小計	72	251	3.5	202	(108)	(194)	85	(46)	(80)	84	(46)	(79)
医学部	医学科	45	121	2.7	96	(50)	(40)	47	(16)	(17)	47	(16)	(17)
	看護学科	35	69	2.0	43	(38)	(38)	39	(34)	(34)	38	(33)	(33)
	小計	80	190	2.4	139	(88)	(78)	86	(50)	(51)	85	(49)	(50)
工学部	工学科	200	356	1.8	343	(57)	(304)	235	(43)	(214)	208	(32)	(188)
	小計	200	356	1.8	343	(57)	(304)	235	(43)	(214)	208	(32)	(188)
農学部	農学科	109	437	4.0	405	(180)	(334)	147	(73)	(120)	132	(67)	(110)
	獣医学科	20	95	4.8	92	(59)	(48)	22	(14)	(13)	22	(14)	(13)
	小計	129	532	4.1	497	(239)	(382)	169	(87)	(133)	154	(81)	(123)
地域資源創成学部	地域資源創成学科	55	91	1.7	88	(38)	(81)	64	(30)	(59)	56	(28)	(52)
	小計	55	91	1.7	88	(38)	(81)	64	(30)	(59)	56	(28)	(52)
合計		536	1420	2.6	1269	(530)	(1039)	639	(256)	(537)	587	(236)	(492)

※志願者は、第2志望等の志願者を含まない。合格者・入学者は、第2志望等の合格者・入学者を含む。

【後期日程】

学部	学科等	募集人員	志願者		受験者			合格者			入学者		
			総数	倍率	総数	(女子)	(現役)	総数	(女子)	(現役)	総数	(女子)	(現役)
教育学部 学校教育課程	小中一貫教育コース 小学校主免専攻	10	224	22.4	65	(32)	(63)	12	(10)	(11)	12	(10)	(11)
	小計	10	224	22.4	65	(32)	(63)	12	(10)	(11)	12	(10)	(11)
医学部	医学科	15	445	29.7	47	(16)	(21)	16	(7)	(6)	16	(7)	(6)
	小計	15	445	29.7	47	(16)	(21)	16	(7)	(6)	16	(7)	(6)
工学部	工学科	93	859	9.2	268	(38)	(217)	136	(25)	(113)	104	(17)	(85)
	小計	93	859	9.2	268	(38)	(217)	136	(25)	(113)	104	(17)	(85)
農学部	農学科	43	588	13.7	246	(105)	(207)	58	(23)	(43)	43	(18)	(32)
	獣医学科	10	173	17.3	86	(56)	(60)	10	(3)	(3)	10	(3)	(3)
	小計	53	761	14.4	332	(161)	(267)	68	(26)	(46)	53	(21)	(35)
地域資源創成学部	地域資源創成学科	15	134	8.9	45	(18)	(38)	19	(9)	(17)	15	(7)	(13)
	小計	15	134	8.9	45	(18)	(38)	19	(9)	(17)	15	(7)	(13)
合計		186	2423	13.0	757	(265)	(606)	251	(77)	(193)	200	(62)	(150)

※ 志願者は、第2志望等の志願者を含まない。合格者・入学者は、第2志望等の合格者・入学者を含む。

※ 医学部医学科の受験者には、第1段階選抜不合格者を含まない。

志願者・入学者の出身高校等所在地別調

都道府県		教育学部		医学部		工学部		農学部		地域資源創成学部		合計	
		志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者
1	北海道	0	0	6	0	1	1	14	4	0	0	21	5
東北地方		1	0	4	0	2	0	4	2	1	1	12	3
2	青森県	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0
3	岩手県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	宮城県	0	0	1	0	1	0	3	1	0	0	5	1
5	秋田県	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1
6	山形県	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0
7	福島県	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1
関東地方		8	1	115	16	17	5	107	16	0	0	247	38
8	茨城県	3	0	7	3	2	1	14	1	0	0	26	5
9	栃木県	0	0	0	0	1	0	3	1	0	0	4	1
10	群馬県	0	0	5	0	1	0	6	0	0	0	12	0
11	埼玉県	2	0	7	2	2	0	19	3	0	0	30	5
12	千葉県	1	1	13	2	1	0	15	2	0	0	30	5
13	東京都	2	0	58	5	4	2	35	6	0	0	99	13
14	神奈川県	0	0	25	4	6	2	15	3	0	0	46	9
中部地方		16	4	38	5	45	9	107	15	8	4	214	37
15	新潟県	1	0	5	1	1	0	6	2	0	0	13	3
16	富山県	1	1	0	0	1	1	1	0	0	0	3	2
17	石川県	0	0	1	0	1	0	6	1	0	0	8	1
18	福井県	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
19	山梨県	1	0	4	0	1	0	2	0	0	0	8	0
20	長野県	2	1	5	1	1	0	10	1	0	0	18	3
21	岐阜県	0	0	2	0	0	0	11	0	0	0	13	0
22	静岡県	8	1	5	1	8	1	16	1	4	1	41	5
23	愛知県	3	1	16	2	32	7	54	10	4	3	109	23
近畿地方		16	3	102	13	35	10	156	29	14	2	323	57
24	三重県	2	0	3	0	0	0	17	5	0	0	22	5
25	滋賀県	0	0	5	0	0	0	10	2	0	0	15	2
26	京都府	1	0	12	2	10	1	16	4	0	0	39	7
27	大阪府	2	0	30	5	7	4	65	9	9	2	113	20
28	兵庫県	7	1	41	6	12	3	34	8	5	0	99	18
29	奈良県	1	0	4	0	2	1	8	1	0	0	15	2
30	和歌山県	3	2	7	0	4	1	6	0	0	0	20	3
中国地方		31	12	41	4	35	9	95	14	17	4	219	43
31	鳥取県	4	3	4	0	3	0	5	0	2	0	18	3
32	島根県	2	0	0	0	1	0	12	1	1	0	16	1
33	岡山県	8	3	17	2	8	1	17	3	2	0	52	9
34	広島県	10	4	19	2	14	4	33	6	6	2	82	18
35	山口県	7	2	1	0	9	4	28	4	6	2	51	12
四国地方		5	0	21	1	19	7	44	6	4	1	93	15
36	徳島県	0	0	4	0	3	0	5	1	0	0	12	1
37	香川県	1	0	7	0	1	0	15	3	1	0	25	3
38	愛媛県	4	0	7	1	14	6	21	2	3	1	49	10
39	高知県	0	0	3	0	1	1	3	0	0	0	7	1
九州地方		510	133	456	127	1194	340	918	185	226	79	3304	864
40	福岡県	31	10	67	10	181	64	204	42	7	1	490	127
41	佐賀県	13	2	3	0	39	8	34	7	5	2	94	19
42	長崎県	31	5	32	2	99	32	59	18	6	2	227	59
43	熊本県	56	9	23	6	128	28	96	19	7	3	310	65
44	大分県	12	0	19	4	79	19	87	19	5	0	202	42
45	宮崎県	326	99	253	87	508	155	282	54	174	64	1543	459
46	鹿児島県	41	8	48	16	157	33	127	17	21	7	394	81
47	沖縄県	0	0	11	2	3	1	29	9	1	0	44	12
その他		0	0	3	0	8	0	15	1	2	1	28	2
合計		587	153	786	166	1356	381	1460	272	272	92	4461	1064

※ その他は、高等学校卒業程度認定試験合格者、外国の学校等を卒業した者。

24. 試験場配置



木花キャンパス

〒889-2192
宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地

農学部
- ① 実験研究棟（北）
- ② 講義棟
- ③ 実験研究棟（南）
- ④ 実験研究棟（獣医）
- ⑤ 附属動物病院
- ⑥ 附属農業博物館
- ⑦ 標本植物温室
- ⑧ 附属次世代農学教育研究センター

教育学部
- ⑨ 講義棟
- ⑩ 実験研究棟
- ⑪ 美術棟
- ⑫ 技術・家庭棟
- ⑬ 音楽棟
- ⑭ 附属教育協働開発センター

地域資源創成学部
- ⑮ 講義棟
- ⑯ 実験研究棟

工学部
- ⑰ 実験研究棟（A棟）
- ⑱ 講義棟（B棟）
- ⑲ 実験研究棟（C棟）
- ⑳ 機械実習工場
- ㉑ 機械工学実験実習棟
- ㉒ 高電圧実験棟
- ㉓ 土木工学実験実習棟
- ㉔ 実験研究棟（E棟）
- ㉕ 電気機器実験棟

太陽光発電システム・太陽熱給湯システム
- Ⓐ ビームダウン式太陽集光装置
- Ⓑ 工学部実験研究棟屋上
- Ⓒ 産学・地域連携センター（機器分析支援施設）壁面
- Ⓓ 附属図書館屋上
- Ⓔ 国際交流宿舎屋上
- Ⓕ 集光型太陽光発電システム（NSCエネルギースクエア）（体育館北側）
- Ⓖ 教育学部技術・家庭棟屋上
- Ⓗ 教育学部実験研究棟屋上
- Ⓘ 農学部実験研究棟（北）屋上
- Ⓙ 農学部講義棟屋上
- Ⓚ ソーラーカーポート

自然科学野外観察教材開発プロジェクト
- Ⓛ 木花キャンパスの地質の全体像
- Ⓜ 下末吉海進期以降の段丘堆積物
- Ⓝ 宮崎層群の砂岩泥岩互層
- Ⓞ ナンバンギセル（ハマウツボ科）
- Ⓟ 照葉樹林

- ㉖ 福利施設棟（国際連携機構、学生食堂、インフォメーションコーナー）
- ㉗ 附属図書館（本館）
- ㉘ 創立330記念交流会館
- ㉙ 地域デザイン棟
- ㉚ 事務局棟（1F入試課）
- ㉛ 安全衛生保健センター、障がい学生支援室
- ㉜ 情報基盤センター
- ㉝ フロンティア科学総合研究センター（RI木花分室）
- ㉞ 研究・産学地域連携推進施設（研究・産学地域連携推進機構）
- ㉟ 創造プロジェクト棟
- ㊱ イスラーム文化研究交流棟
- ㊲ 研究・基盤支援施設（研究・産学地域連携推進機構）
- ㊳ フロンティア科学総合研究センター（遺伝資源分野）
- ㊴ 総合研究棟
- ㊵ 産業動物教育研究センター
- ㊶ 国際交流宿舎
- ㊷ 女子寄宿舎
- ㊸ 男子寄宿舎
- ㊹ 木花ドミトリー

2025年4月1日現在



清武キャンパス

〒889-1692
宮崎県宮崎市清武町木原
5200番地

宮崎大学
ユニバーサルデザインマップ
QRコード



医学部

1. 講義実習棟
2. 総合教育研究棟
3. 福利施設
4. 基礎臨床研究棟
5. 附属図書館（医学分館）
6. 附属病院
7. 管理棟
8. フロンティア科学総合研究センター（RI清武分室）
9. フロンティア科学総合研究センター（生物資源分野）
10. 外来診療棟
11. ヘリポート（2ヵ所）
12. 看護師宿舎・清武ドミトリー
13. 宮崎大学医学部附属病院患者付添者等宿泊施設
「宮崎ドライビングスクールpresents THE CROSS ROADS」
14. 多用途型トリアージ施設

太陽光発電システム・太陽熱給湯システム

Q 医学部基礎臨床研究棟屋上
R 附属病院屋上
S ソーラーカーポート

2025年4月1日現在

宮崎大学 位置図



木花キャンパスへの交通アクセス　（教育学部・工学部・農学部・地域資源創成学部）

〒889-2192　宮崎県宮崎市学園木花台西１丁目１番地

【宮崎交通バスを利用する場合】「宮崎大学・大学病院」行に乗車
「宮崎駅」 →（約45分）「橘通り」 →（約40分）「宮交シティ」 →（約30分）「宮崎大学」停留所にて下車

【タクシーを利用する場合】
- ○宮崎空港から：約20分
- ○JR清武駅から：約15分
- ○JR木花駅から　：約10分
- ○JR南宮崎駅から：約25分

清武キャンパスへの交通アクセス　（医学部）

〒889-1692　宮崎県宮崎市清武町木原５２００番地

【宮崎交通バスを利用する場合】「宮崎大学・大学病院」行に乗車
「宮崎駅」 →（約45分）「橘通り」 →（約40分）「宮交シティ」 →（約30分）「大学病院」停留所にて下車

【タクシーを利用する場合】
- ○宮崎空港から：約20分
- ○JR清武駅から：約10分
- ○JR木花駅から　：約15分
- ○JR南宮崎駅から：約25分

各種問い合わせ先

入試全般	学び･学生支援機構入試課	0985-58-7138
入学手続	学び･学生支援機構総務係	0985-58-7427
授業料納入	財務部財務課	0985-58-7122
授業料免除	学び･学生支援機構学生支援課	0985-58-7976
奨学金	学び･学生支援機構学生支援課	0985-58-7140
学生寄宿舎	学び･学生支援機構学生支援課	0985-58-7142

宮崎大学の入試に関するお問い合わせ先

宮崎大学学び・学生支援機構入試課

〒889 - 2192　宮崎市学園木花台西１丁目１番地
電　　話　0985-58-7138
ホームページ　https://www.miyazaki-u.ac.jp/



宮崎大学ホームページに表示される
チャットボットもご利用ください。
多くの質問に対応しております。
土日、夜間でもご利用いただけます。
【利用方法】
質問したい事項をメニューから選択
するか、質問やそのキーワードを文字
で入力いただくとAI（人工知能）が
自動回答します。